

2023年度

お客さま本位の業務運営にかかる 取組状況

2024年6月



お問い合わせ先

百五銀行 営業開発部預り資産課
059-223-2315



お問い合わせ先

百五証券 営業企画部
059-222-2105

お客さま本位の業務運営宣言

百五銀行と百五証券は、企業理念に則り、金融商品販売において、お客さま本位の業務運営を行い、お客さまに有益な資産形成に資する取組を行うことをお約束いたします。

- 金融庁が公表した「顧客本位の業務運営に関する原則（2021年1月15日改訂）」に則り、百五銀行と百五証券は、取組方針を定め、お客さまの声を反映しながら、取組状況を定期的に公表しております。
- 取組方針に表示している【原則 2 ～ 7（これらに付されている（注）を含む）】は、以下の通り「顧客本位の業務運営に関する原則（2021年 1 月15日改訂）」に対応しています。[金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係表（詳細）はこちら](#)
- 2023年度の取組状況については、取組方針ごとに具体的な取り組みについて記載しています。

	金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応
「お客さま本位の業務運営」～3つの約束～	
・お客さまの資産形成に資するため、お客さま本位の業務運営を徹底します。	原則 2、原則 2（注）
・役職員は、お客さまの利益を最優先に金融商品をご提案します。	
・お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組みます。	
お客さま本位の業務運営の取組方針	
1. お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。	原則 2（注） 原則 3、原則 3（注） 原則 6、原則 6（注 2・3）
2. コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。	原則 5、原則 5（注 1・2・3・4・5） 原則 6、原則 6（注 1・2・3・4・5）
3. お客さまにご負担いただく手数料をはじめ、投資のご判断にかかる重要な情報について、わかりやすい説明を行います。	原則 4 原則 5、原則 5（注 1・2・3・4・5） 原則 6（注 1・2・3）
4. グループ総合力を活用し金融サービス提供体制を整備します。	原則 2、原則 2（注） 原則 6、原則 6（注 2・3）
5. お客さま本位の営業体制を整備します。	原則 2 原則 7、原則 7（注）

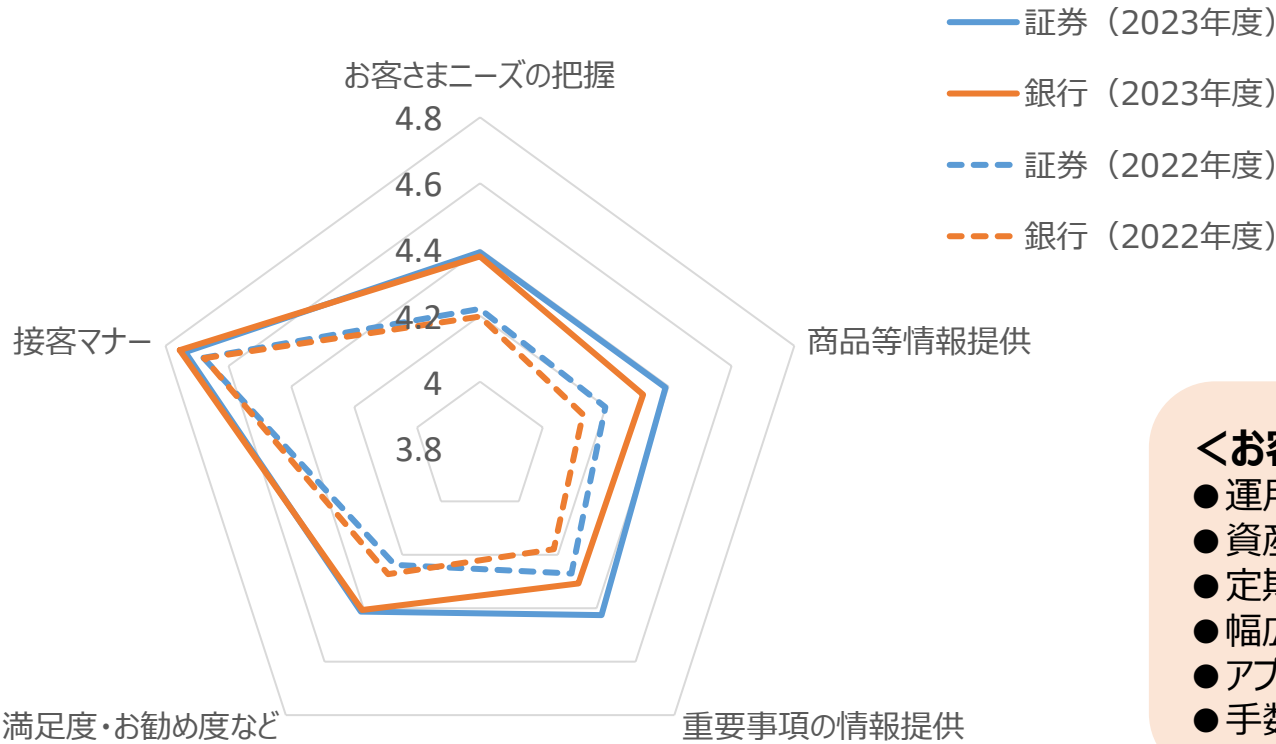
お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則 2、原則 2（注）]

【お客さまアンケートの実施】

- 百五銀行・百五証券では、2023年12月から2024年2月の期間に投資信託をご購入いただいたお客さまに対して「お客さまアンケート」を実施し、お客さまからご提案内容に対するご評価、様々なご意見、ご要望をいただきました。
- 回答数は百五銀行1,142通、百五証券372通でした。
- 銀行・証券ともに、前年度と比較して、いただいたご評価は良化しており、更なるサービス向上・業務改善に取り組んでまいります。

投資信託お客さまアンケート集計結果



投資信託ご購入のお客さまへ アンケートのお願い

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
このたびは、百五銀行で金融商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
さて、百五銀行では、「お客さま本位の業務運営宣言」～3つの約束～を公表しており、販売担当者がお客さまに実践できていることを確認し、お客さまのご意見やご要望をお伺いすることで、取組を一層向上するためにアンケートを実施いたします。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。
※「お客さま本位の業務運営宣言」は当行のホームページ
（https://www.hyakugo.co.jp/gyomu/unoi_sengen）にてご確認ください。
◆今回のアンケートは、2023年12月～2月中旬に当行で投資信託をご購入いただいたお客さまへお送りしております。

		※該当する項目に○印をお願いします。			
質問事項		満足（はい）	やや満足	やや不満足	不満足（いいえ）
お客さまへのニーズ等把握	お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況、投資目的などについて十分確認がありましたか。				
	当行の取扱商品は、お客さまのニーズにお応えできる品揃えでしたか。				
	担当者は、お客さまのご意向を十分お聞きしたうえで、商品の提案をしていましたか。				
商品等	商品の内容（仕組み・特性）や運用状況、投資対象などについて、十分な情報提供がありましたか。				

＜お客さまから頂戴した主なご意見＞

- 運用損益などきめ細かくフォローしてもらい感謝している
- 資産運用セミナー（投資環境・初心者向け）の開催
- 定期的な情報提供とフォローの充実
- 幅広い商品ラインアップの充実
- アプリでの取引ができるようにしてほしい
- 手数料が高い、手数料を下げしてほしい

お客さま本位の業務運営宣言～3つの約束～

お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則2、原則2（注）]

【提案機会の増加と質の向上によるお客さま本位の業務運営の実践】

- これまで以上にお客さまの幅広いニーズにお応えしつつ、お客さま満足度の向上を目指し、2022年4月以降、預り資産営業拠点（対面・非対面）を強化しました。

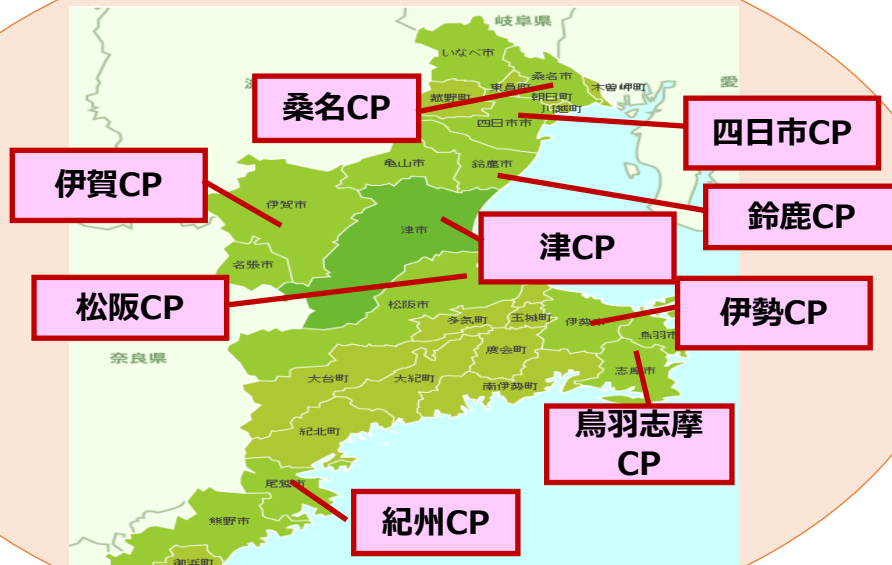
<対面拠点強化>

- 百五銀行三重県内9拠点到預り資産専門拠点であるコンサルプラザ（CP）を新設し、預り資産担当者のコンサルティング営業を強化しました。
- 営業拠点に関しては、百五証券支店・営業所と併設とすることで、百五証券との連携力を強化しました。

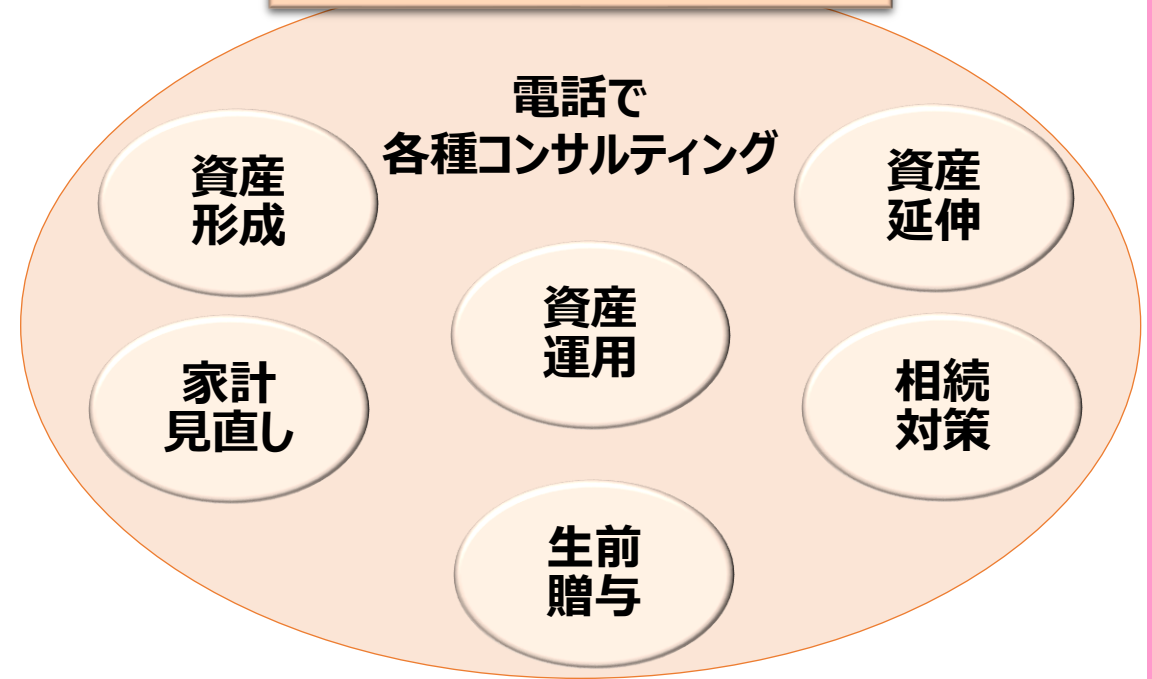
<非対面拠点強化>

- 新たに預り資産センターを新設しました。預り資産センターでは、お客さまのニーズに応じて、電話にて各種コンサルティングを行っています。

百五銀行コンサルプラザ（CP）＝百五証券営業拠点 ～銀証連携した対面営業体制の強化～



百五銀行預り資産センター ～非対面営業強化～



お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

[原則2、原則2（注）]

【百五証券でのお客さまの声に応える取組】

- これまでのお客さまアンケートや日頃の皆様のご意見にお応えすべく、様々な取り組みを行っています。

【有益な情報提供と適切なアフターフォロー】

- 投資環境やマーケットに関する情報提供の質を向上するため、QUICK社が提供するアナリストレポートの活用を開始しました。

～詳細はP.16参照～

【わかりやすい投信提案】

- 投資信託の比較、組み合わせ、運用実績などを面談時にわかりやすくお示しするようタブレットアプリを活用。
- ウエルスアドバイザー社（旧モーニングスター社）の提供する情報コンテンツを活用し、視覚的にわかりやすい提案・アフターフォローを行っています。

～詳細はP.9参照～

【お客さまに寄り添ったご提案】

- お客さまの状況を適切に把握し、最適な資産運用プランをご提供するため、お客さまのご意向やニーズ、全体の保有資産、ご家族構成、ライフプランや資産承継に対するお考えなどをしっかりと伺いすることを、社内活動方針として徹底しています。
- お客さまの最適なポートフォリオをご提案するため、「マネープランシート」の活用も開始しています。

～詳細はP.13参照～

【オンラインサービスの充実】

- 多数のご要望をいただいていたオンライントレードサービス（インターネット売買機能）を2024年2月にリリースしました。
- 国内株式・米国株式・投資信託の売買、積立投資信託のご契約などが可能になりました。
- 国内株式・投資信託の手数料は割引を行い、サービスの改善を図りました。

～詳細はP.9参照～

商品ラインアップの充実化

[原則 6]

- グループ全体でお客さまの多様なニーズに応えるため、商品ラインアップの充実に努めています。
- 商品の選定については、ニーズに加えて経済情勢や市場動向も踏まえ、幅広い運用会社や保険会社の商品の中から検討しています。

【2023年度の新規取扱商品数】

投資信託：国内株式1商品、外国株式7商品、外国債券2商品、バランス型3商品

保険：保障型2商品

- 相対的にリスクを抑えた『外国債券ファンド』、投資期間を定めた運用ニーズにお応えする『限定追加型債券ファンド』のほか、新NISA制度に対応するファンドラインアップ拡充など、例年以上に、多様な資産カテゴリーから幅広く商品拡充を行いました。

◆百五銀行

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	3	1.7%	国内REIT	2	1.1%	ノーロードファンド	46
内外・海外債券	32	17.7%	内外・海外REIT	4	2.2%	インデックスファンド	29
国内株式	21	11.6%	バランス	55	30.4%	販売停止	2
内外・海外株式	63	34.8%	その他	1	0.6%	合計	181

保険カテゴリー別商品数(種類別)

個人年金(一時払)	5	5.7%	定期保険(収入保障保険含む)	34	39.1%	※うち事業性保険	40
個人年金(平準払)	4	4.6%	医療保険(就業不能保険含む)	14	16.1%		
終身保険(一時払)	17	19.5%	がん保険	4	4.6%		
終身保険(平準払)	6	6.9%	傷害保険	1	1.1%		
学資保険	1	1.1%	火災保険	1	1.1%	合計	87

商品ラインアップの充実化

[原則 6]

- 証券会社として、幅広い資産運用ニーズに適切に応えるため、百五銀行よりも豊富な投資信託商品を揃えています。
- 商品の選定については、ニーズに加えて経済情勢や市場動向も踏まえ、幅広い運用会社の商品の中から検討しています。

【2023年度の新規取扱商品数】

投資信託：国内株式2商品、外国株式15商品、外国債券1商品、国内リート1商品、外国リート1商品、バランス型7商品

- 中長期保有を意識した『安定成長型のバランスファンド』、投資期間を定めた運用ニーズにお応えする『限定追加型債券ファンド』のほか、投資魅力の高い『海外株式ファンド』、新NISA制度に対応するファンドラインアップ拡充など、例年以上に、多様な資産カテゴリーから幅広く商品拡充を行いました。
- 今後も、お客さまのご要望にしっかりとお応えできる商品ラインアップを検討してまいります。

◆百五証券

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	5	2.0%	国内REIT	7	2.8%	ノーロードファンド	25
内外・海外債券	32	13.0%	内外・海外REIT	6	2.4%	インデックスファンド	21
国内株式	33	13.4%	バランス	47	19.1%	販売停止	3
内外・海外株式	112	45.5%	その他	4	1.6%	合計	246

多様なチャネルサービスの充実

[原則 2 (注)、原則 6]

【非対面チャネルの強化】

- 非対面チャネルであるインターネット投信の強化に向け、チラシ「インターネット投資信託」を活用しています。
- インターネット投信ご契約者数は2024年3月末で36,835名と前年度比4,104名と増加しています。
- インターネット取引による投資信託販売比率は、30%前後で推移しています。

百五ダイレクトバンキングサービスのご案内

インターネット投資信託

インターネット投資信託とは
百五銀行のインターネット投資信託は、ご来店いただくことなく、インターネットを通じて、ご自宅・外出先で投資信託の各種お取引や残高・運用損益の確認ができるサービスです。

**来店不要!!
おうちでカンタン**

インターネット投資信託

ご来店いただくことなく、インターネットを通じて、ご自宅・外出先で投資信託の各種お取引や残高・運用損益の確認ができるサービスです。

24時間いつでもお取引!!
当日分の売買受付は15時まで
平日夜間や土日祝も終日注文予約が可能です。

いつも0.55%(税込)安い!!^(※)
購入時手数料が窓口扱いより
常時0.55%(税込)お安くなります。
(購入時手数料無料のファンドを除きます)

コツコツ積立購入も!!
積立投信の新規契約・
変更・解除の手続きが
可能です。

安心・安全
先進のセキュリティで安心して
ご利用いただけます。

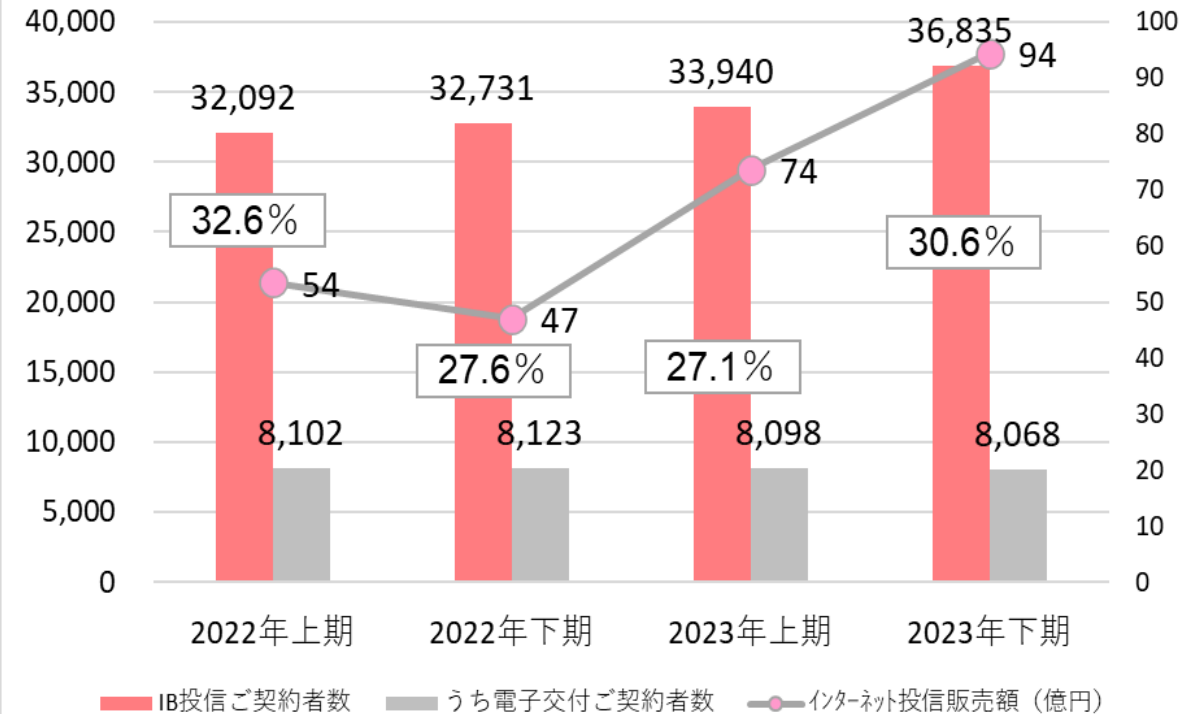
ご来店せずにお申込・お取引いただけます!!
銀行窓口にもご来店いただくことなく、
●ダイレクトバンキングのご契約
●投資信託口座開設
●投資信託各種取引
などが可能です

お申込はこちら

*インターネットバンキング経由での積立投資契約に基づく
購入時手数料は窓口扱いの購入時手数料を適用します。

【銀行】インターネット投信ご契約者数・ご購入額

(%：インターネット投信販売額比率)



取組方針 1：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

多様なチャネルサービスの充実

[原則 2（注）、原則 6]

【お客さまへの情報提供サービスの充実化と、取引利便性の向上】

- 対面営業で活用するタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」の追加を行い、投資信託の比較、組み合わせ、運用実績などを面談時にわかりやすくお示ししています。ウェルスアドバイザー社（旧モーニングスター社）の提供する情報コンテンツを活用し、視覚的にわかりやすい提案・アフターフォローを行っています。
- 2024年2月には多数のご要望をいただいていたオンライントレードサービス（インターネット売買機能）をリリースしました。国内株式・米国株式・投資信託の売買、積立投資信託のご契約、銀行口座からの即時入金などが可能になり、「利便性の向上」と「対面取引に比して、低い売買手数料」から、2024年5月末時点で多くのお客さまにご利用いただいております。引き続き、多様なチャネルサービスの向上・改善に努めてまいります。

対面営業タブレットアプリ
『ウェルスアドバイザーズ』



2024年2月13日
百五証券
オンライントレードリリース



オンライントレード利用状況（2024年2月～5月末）

オンライントレード契約者数	6,881先
電子交付契約者数	2,601先
オントレ利用率（売買額ベース）	33.6億円（10.76%）
オントレ利用率（件数ベース）	2,731件（22.34%）

取組方針 1：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

利益相反の適切な管理

[原則 3、原則 3（注）]

【利益相反の可能性の把握・管理状況】

- 資本関係のある投信会社・保険会社はなく、また販売上位はもとより全ての投信会社・保険会社からの利益供与等の利益相反はありません。
- 新商品採用においては、商品内容や運用実績および研修などのバックアップ体制等を総合的に勘案のうえ、リスク協議・稟議決裁を経ております。
- 銀行の仲介業務および証券における債券商品に関しては、他の証券会社から外国債券等の取扱を行っています。
※当行グループと資本関係にある証券会社はありません。
- 手数料の高い商品に販売が偏ることなく、お客さまの利益を不当に害することが無いよう、利益相反管理方針に基づき、銀行・証券双方において各関連部署が牽制と検証を行い、適切に管理しています。

2023年度 年間購入上位商品

◆百五銀行【投資信託】

	商品名	投資対象	運用会社	毎月分配	購入時手数料率 (税抜)	販売額 (百万円)	構成比
1	野村インデックスファンド日経 2 2 5	国内株式	野村アセットマネジメント	-	無料	6,899	12.0%
2	日経 2 2 5 ノーロードオープン（累投）	国内株式	アセットマネジメントOne	-	無料	5,460	9.5%
3	あおぞら・新グローバル分散 F（限定追加型） 2 0 2 3 - 0 7	バランス	あおぞら投信	-	2.0%	4,035	7.0%
4	好配当日本株式オープン【愛称：好配当ニッポン】	国内株式	野村アセットマネジメント	-	2.0%	3,173	5.5%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	毎月分配	3.0%	2,859	5.0%

◆百五証券【投資信託】

	商品名	投資対象	運用会社	毎月分配	購入時手数料率 (税抜)	販売額 (百万円)	構成比
1	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	三菱UFJアセットマネジメント	-	1.5%	3,558	11.5%
2	H S B C インド・インフラ株式オープン	海外株式	HSBCアセットマネジメント	-	3.0%	2,425	7.8%
3	あおぞら・新グローバル分散 F（限定追加型） 2 0 2 3 - 0 7	バランス	あおぞら投信	-	2.0%	2,056	6.6%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	毎月分配	3.0%	1,790	5.8%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	海外株式	アライアンス・バーンスタイン	-	3.0%	1,753	5.7%

[原則 6 (注 1)]

[illegible]

ライフプランに基づく、金融商品・サービスの提案

[原則6 (注1)]

【『新NISA』の積極的な推進】

- 2024年1月からNISA制度が変更となり、資産運用に関心を持つお客さまが増加しています。
- 百五銀行・百五証券では対面営業の強みを活かし、新NISAの制度説明や旧NISAとの変更点等、お客さまのニーズに合わせた提案を実施しています。
- 新制度開始となった2023年下期は百五銀行・百五証券合算でNISA口座数は大幅に増加しています。

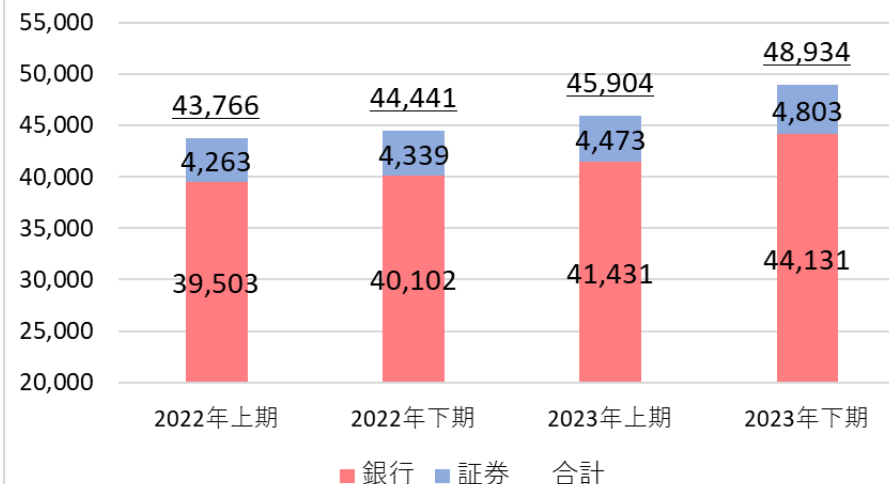


【『確定拠出年金iDeCo』の積極推進】

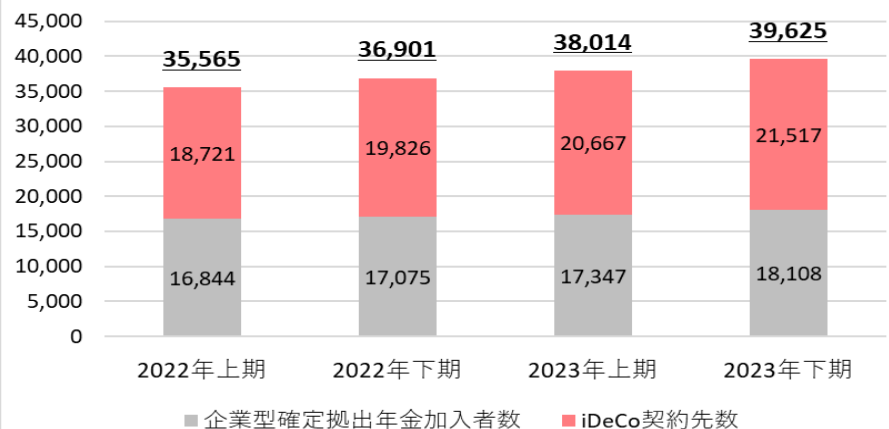
- 2024年3月末時点の当行iDeCo加入者数は21,517人と2021年6月以降、自社iDeCoを取扱う地銀の中でiDeCo加入者数は全国1位となっております。
 - iDeCo加入者向けに運用サポートアプリ「みらいナビ」の無料提供を行い、加入者の長期にわたる資産形成のサポートを行っています。
- ※確定拠出年金の取扱いのない百五証券では、お客さまのニーズとご同意に基づき、百五銀行への紹介も積極的に実施しています。



【銀行・証券】NISA口座数



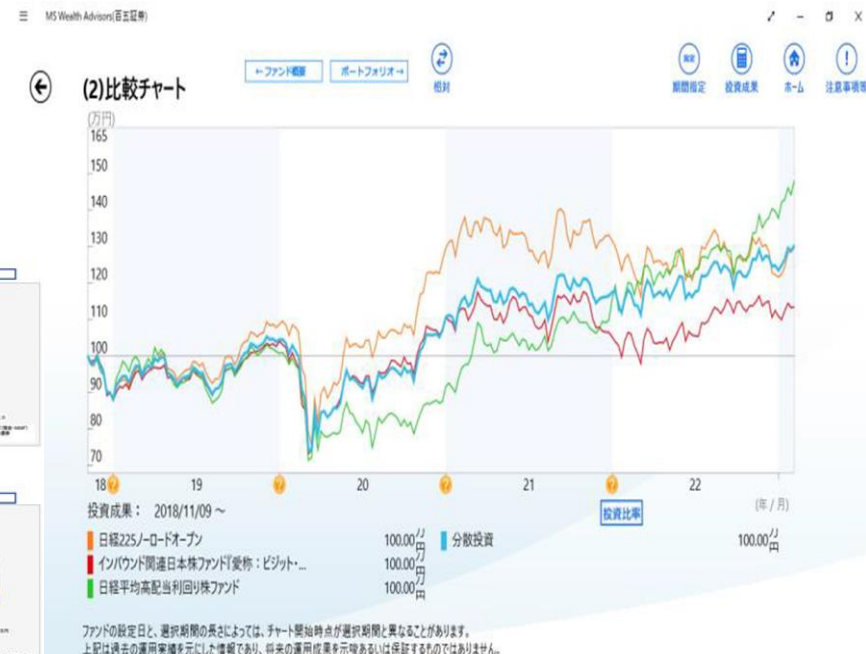
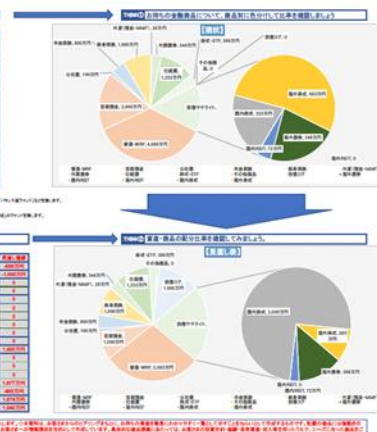
【銀行】iDeCo（個人型確定拠出年金）ご契約数
企業型確定拠出年金加入者数



[原則 6 (注 1)]

- 「百五証券取扱商品・サービスのご案内」リーフレットを活用し、お客さまのニーズや考えに合わせた商品選択をご紹介します。商品ご提案時には株式・債券・投資信託のそれぞれの特徴について比較説明を行い、お客さまのニーズに合わせたご提案を行います。
- 「資産運用と証券投資」や「NISAガイドブック」を活用し、投資信託や積立投資信託を活用したNISA利用の促進にも注力し、資産形成に資する提案に繋がっています。新NISA拡充は、幅広いお客さまの資産形成に資する制度であり、引き続き積極的な利用促進を行います。
- 投資信託については、販売担当者が活用するタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」により、ファンド比較・組み合わせ提案や、積立による中長期での時間分散投資の効果をわかりやすくお示し、ご資金の運用目的やリスク許容度に合わせたご提案を行っています。
- お客さまの最適なポートフォリオ構築のお手伝いに繋げるべく、保有資産割合の可視化し見直しをご提案する「マネープランシート」の活用も開始しています。

タブレットアプリ（投資信託比較チャート）

[illegible]

投資信託を活用した長期・積立・分散投資

[原則6]

- お客さまのライフプラン・ニーズに合わせたコンサルティング提案を通じて、長期保有・積立投資（時間分散）・資産分散投資をお勧めしています。
- 資産を守りながら増やす「コア・サテライト」の考え方にもとづき、多様な商品を組み合わせる複数ファンドの併せ持ちをお勧めしています。
- 長期継続した資産形成をお勧めしており、投資信託の平均保有期間も改善しています。

FRONTIER BANKING

百五銀行で積立投信はじめてみませんか？

こんな方におすすめ！

将来に備えて準備したいけど、まとまったお金がない方

資産運用にかけられる時間があまうい少ない方

投資信託って何するの？それってなに？

少額から購入できます

毎月自動で買付します

分散投資がリスクを軽減します

POINT! コツコツつみたて下がってもうれしい仕組み！

毎月一定額で投資信託を購入するため、基準価額が下がった時には、多くの口数を購入することができます。下落時も積立投資を続けることで、次の値上がりの際のチャンスを作っておくことができます。

POINT! 「時間」と「利回り」を味方につけることが大事！

お金の運用は「元本・時間・利回り」の相乗効果で「早く始める」ことが、大切な要素です。利回りも上げることが期待できる積立投資をはじめてみませんか？

来店不要！

少額・カンタンな「積立」で投資信託がぐっと身近になります。インターネットで積立投資をはじめられます！

詳細は裏面をご覧ください

Basic

制度も充実してきたが「本気の積立」で考えよう

1 「1万円から」じゃないかもしれない「本気の積立」を

月1万円の積立では、せっかくの「真実」がもたない場合があるかもしれません。なぜなら、10年間で平均年5%という上々の積立運用ができたとしても、下落のように計算結果は156万円であり、「人生の選択誤差を埋めよう」とは少し物足りないからです。

もし別に期間、1万円ではなく毎月5万円「本気の積立」をしたら、例年10年後には780万円、もし月10万円だったなら1,585万円を手にしていることに、その後の人生の選択誤差は、156万円に比べて随分差えていたといえるでしょう。

積立期間 10年

積立期間 20年

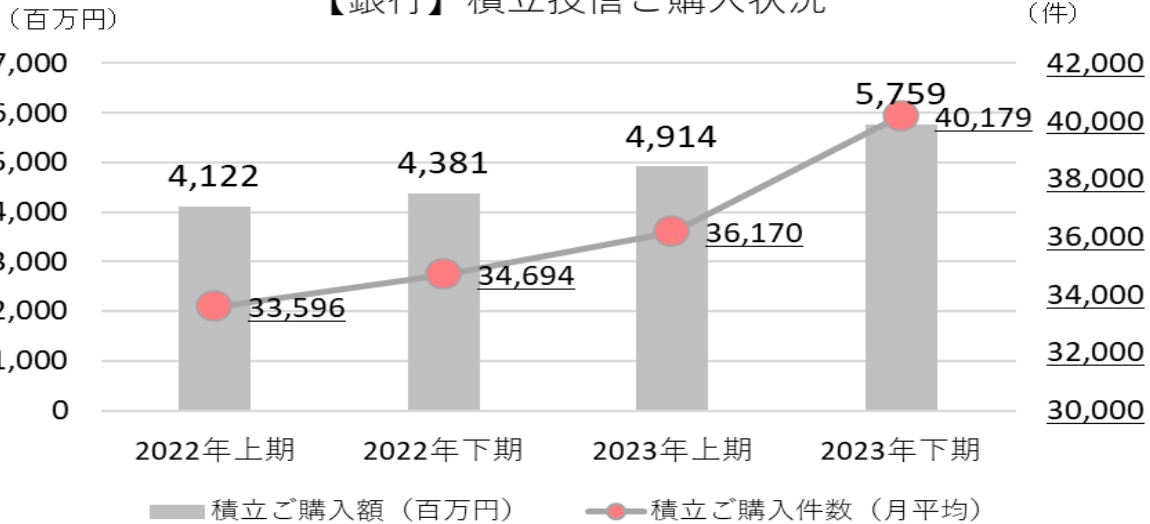
企業年金等

会社や団体などが毎月一定額を毎月預けてくれる。実はこれも立派な積立投資。

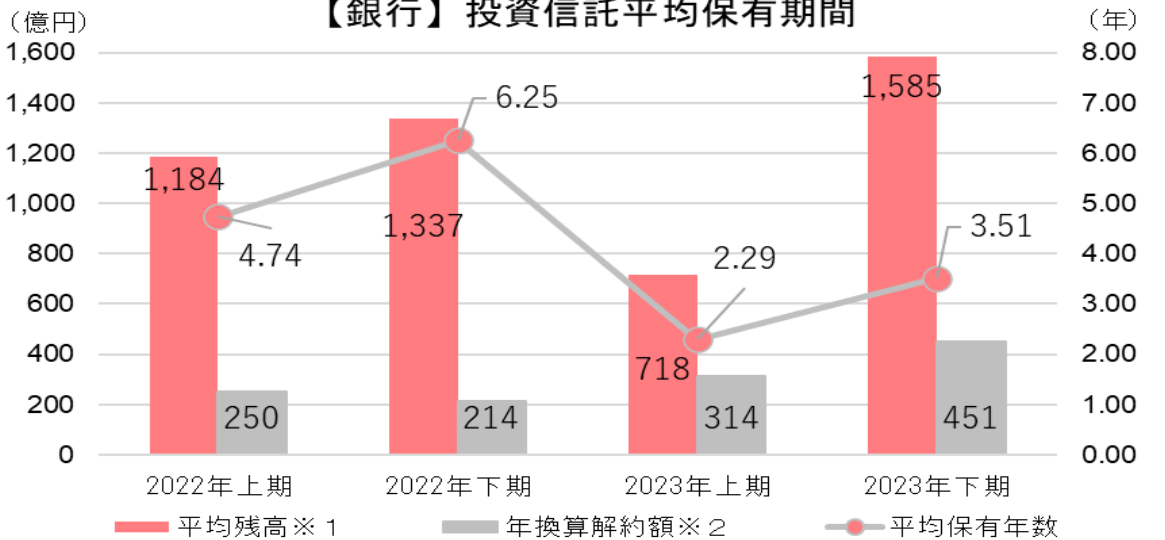
※1 平均残高 = (前期末残 + 今期末残) ÷ 2

※2 解約額 (年換算) = 前期解約額 + 今期解約額

【銀行】 積立投信ご購入状況



【銀行】 投資信託平均保有期間



※ 1 平均残高 = (前期末残 + 今期末残) ÷ 2 ※ 2 解約額 (年換算) = 前期解約額 + 今期解約額

投資信託を活用した長期・積立・分散投資

[原則6]

- お客さまのライフプラン・ニーズに合わせたコンサルティング提案を通じて、長期保有・積立投資（時間分散）・資産分散投資をお勧めしています。
- 積立投資信託の活用効果についてタブレットアプリ「ウェルスアドバイザーズ」の積立シミュレーションを活用するほか、NISA利用者全員がつみたて投資枠を併用できるようになった新NISA制度の利用促進も積極的に行い、多数のお客さまに積立投信のご契約をいただいております。月平均の積立購入件数は約1,700件に迫ります。
- 長期継続した資産形成をお勧めしており、投資信託の平均保有期間は5年以上で推移しています。



© MS Wealth Advisors 株式会社

積立投資シミュレーション

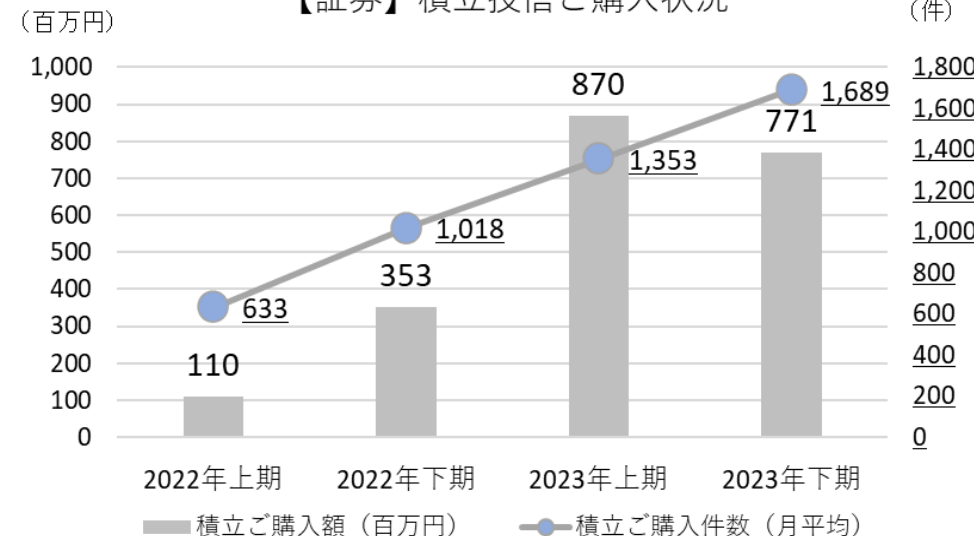
インバウンド関連日本株ファンド 愛称『ビジット・ジャパン』

投資期間や毎月の投資金額を変更することで、過去の積立投資効果をシミュレーションできます。

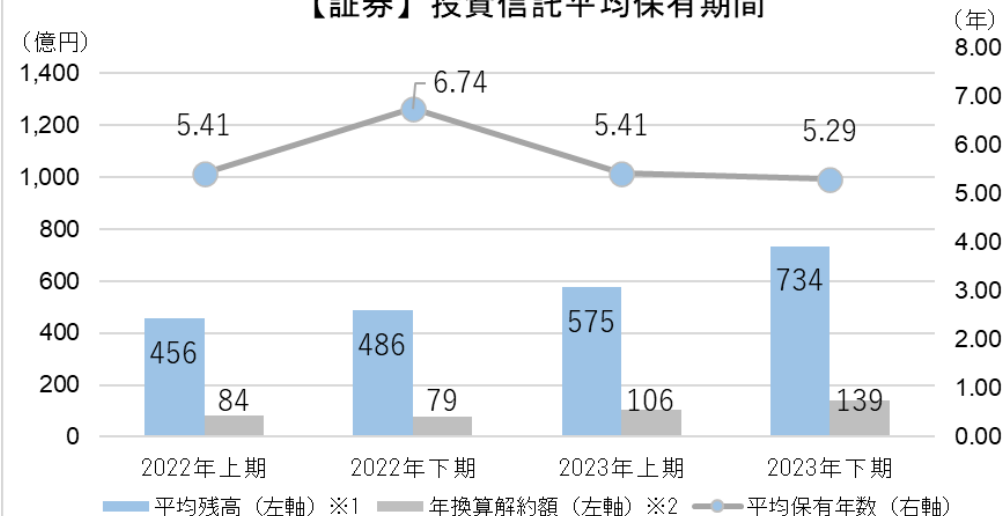
投資期間：5年 毎月の投資金額：10,000円



【証券】積立投信ご購入状況



【証券】投資信託平均保有期間



※1 平均残高 = (前期末残 + 今期末残) ÷ 2 ※2 解約額 (年換算) = 前期解約額 + 今期解約額

取組方針2 コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

お客さまへの適時適切な情報提供・フォローの実施

[原則6 (注1・注4・注5)]



- 取扱商品の運用状況やマーケット・市場動向を適切にお伝えするとともに、お客さまに有益な情報をお伝えすることに取り組み、個別アフターフォローを継続的に実施しています。
- 銀行では投資信託・運用性保険商品・債券をお持ちのお客さま、証券では投資信託・債券をお持ちのお客さまへの定期的なフォロー・情報提供をルール化しています。「定期アフターフォロー」等を通じお客さまへのマーケット状況や運用状況の報告を行うほか、適宜、運用会社が作成する臨時レポートやオンラインセミナーのご紹介など、情報提供機会を充実しています。面談や電話等によるフォローにて情報提供に注力しています。
- マーケット情報の週次配信（銀行）、株式マーケット勉強会の月次開催（証券）など、お客さまへの有益な情報提供に活用するため、社員向けの情報収集機会を充実しています。
- ご高齢のお客さまに対する販売においては、提案時・販売時・ご購入後のフォローについて、特に綿密かつ適切な説明や確認を行う取扱いとしています。
- 確定拠出年金に関して、企業型DC導入企業のご要望に応じ、加入者向けのフォローアップ説明会を実施しております。現在は対面のみで実施しておりますが、動画配信によるフォローアップ説明会を検討し、より多くのお客さまのサポートができるよう努めています。

<加入者向けフォローアップ説明会実施回数>

2019年度：42回(16社)、2020年度：19回(9社)、2021年度：10回(6社)、2022年度：35回(14社)、2023年度：29回(22社)



- 株式を取扱う百五証券では、より詳細なマーケット情報・個別銘柄情報の提供が不可欠であることから、2022年6月よりQUICK社が提供するアナリストレポートを活用し、株式や投資信託などをお持ちのお客さまへ、相場や投資環境、企業動向など、幅広く専門性の高い情報をご提供しています。



投資情報ウィークリー 2023年5月26日号

2023年5月26日

QUICK 企業価値研究所 アナリスト 伊藤健樹

～ 好材料が多く、日経平均株価はバブル後の高値を更新 ～

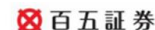
今までのマーケットの振り返りと、今後のポイント

1. 日経平均株価が大きく上昇
国内の株式市場では強い値動きが続いている。4月第2週(10日～14日)以降、日経平均株価は6週連続で上昇。この間の上げ幅は3000円を超え、5月19日には21年9月につけたバブル崩壊後の高値を更新。その後も続伸し、22日には終値ベースで3万1000円を超え、1990年以来33年ぶりの水準に達した。その後は利益確定売りに押されて一時の反落、急反落で急回復局面にある。米国では、NFTブームが4月末に一時3万4000ドルを超えて年初来高値に達したものの、その後反落。一方、NASDAQ総合指数やS&P500は上昇し、年初来高値を更新。また、欧州に目を向けると、ドイツのDAX指数が5月19日に過去最高値を更新し、力強い動きを見せている。

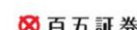
1. 日経平均株価が大きく上昇



2. 日本株好調の背景には複数の好材料があり、海外投資家が大きく買い進んでいる



テーマレポート



投資戦略(要約版)

米国マーケットウォッチ 2023年6月号(マーケットウォッチ編)

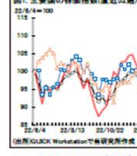
2023年5月26日

QUICK 企業価値研究所 チーフストラテジスト 終宏二

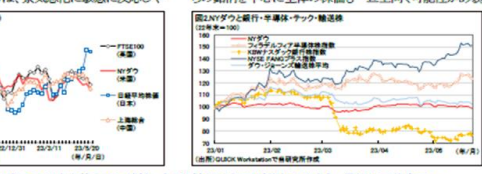
～ 債務上限問題が重荷で日本株と対照的に軟調。生成AI関連株は堅調 ～

1. 債務上限問題の協議継続が重荷に。先行性ある小型株指数は先に下落し軟調。生成AI関連株は堅調
米国株は直近で大きく上昇した日本株と対照的に軟調。米政府の債務上限問題の協議が難航し、政府機関の一部閉鎖などが視野に入り始めたことが重荷となっている。FRB(米連邦準備理事会)が昨年来急進的に進めた利上げや、銀行破綻による金融不安の影響などが、ここに来てボデイブローのように効き始めた感もある。小型株で構成されるラッセル2000は、景気悪化に敏感に反応しや

1. 主要国の株価指数(過去10年)



2. 市場は利上げ継続懸念との見方を基本的に維持。金利と株価の相関が弱れる動きも。景気は現状堅強い



当面のマーケット・フォーカス

～内外株式相場は23年後半に回復に転じるとの見方を変えず

2023年3月29日

QUICK 企業価値研究所 堀内敏成、小西慶祐

本レポートはQUICK企業価値研究所が発行する投資戦略の「要約版」です。詳しくは別途配信している投資戦略の「詳細版」をご参照下さい。

<今回の投資戦略>

1. 金融システム不安が台頭も過度な警戒は必要と考える

23年3月に入り、米国のシリコンバレーバンク(SVB)など銀行の経営破綻が相次ぎ、欧米ではいかに金融システム不安が台頭。米連邦準備理事会(FRB)が早期に「利上げ停止」に転じるとの思惑が浮上している。08年に発生したリーマンショック以来、主要国は金融危機対応に習熟しており、今回も過度にネガティブに捉える必要はないだろう。

2. 国内主要企業は資本効率重視の経営を一段と強化へ

足元では、米国の金融システム不安から、急激な調整を強いられ、世界景気や企業業績の減速傾向が短期的な上値の抑制要因になるものの、年半にかは回復に転じるとの見方を継続する。国内株式相場は回復には、(1)欧米中心のインフレ鈍化に促した主要中央銀行の金融政策の「転換」(利上げ停止から利下げ転換へ)、(2)中国の「ゼロコロナ政策」の「転換」に伴う景気回復、(3)岸田内閣の「政策転換」(①所得増進プラン、②エネルギー政策の転換、③防衛予算の増額、など)、(4)主要国の経済・エネルギー・安全保障を強く意識した「政策転換」などが支援材料となる。加えて、(5)国内企業の経営マインドの転換(ROE(自己資本利益率)など資本効率重視の経営への転換)、も株価上昇を後押しすると考えている。

取組方針2 コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

お客さまへの適時適切な情報提供・フォローの実施

[原則6（注1・注4・注5）]



- 2023年11月～12月にかけて、対面での『資産運用セミナー』を約4年ぶりに開催しました。投資環境・マーケットの情報提供や、NISA・積立投資などの投資啓発に繋がるセミナーを延べ9回実施し、多数のお客さまにご参加いただきました。
- 2024年5月19日には、四日市市で、『資産運用フェアin三重2024』を開催しました。ウェルスアドバイザー社との共催、6社の運用会社の協賛をいただき、投資啓発からNISAの活用方法、様々な投資対象の魅力や、投資環境に関する情報をお伝えしたほか、相談ブースでは個別のご相談もお受けいたしました。

百五銀行・百五証券 資産運用セミナー

このたび、百五銀行・百五証券では、お客さまの資産運用・資産形成の一助となりますよう、資産運用セミナーを開催いたします。2024年からは資産形成に有効な非課税制度（NISA）が大幅に拡充されるなど、株式や投資信託を活用した資産運用方法や投資対象などを、改めてお考えいただく機会にもなります。

今回は、投資環境やマーケット動向をはじめ、資産運用の考え方などに見識の深い著名な方々を講師としてお招きし、これからの資産運用をお考えいただくに、有益な情報をご提供できるよう、ご講演いただきます。

この機会にぜひ、ご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

【投資啓蒙テーマ】⇒事前のお申込みが必要です。お申込方法の詳細は裏面をご参照ください⇒

会場	日程	開催時間	定員	テーマ	講師
津地区	ホテルグリーンパーク津 6階 伊勢・安楽の間 〒514-0009 津市別所町700 059-213-2111	2023年 11月6日 (月)	150名	投資の本質 ～日本株の魅力と 資産形成のポイント～	レオス・キャピタルワークス 代表取締役会長兼社長 CEO/CIO 藤野 英人氏
伊勢地区	伊勢商工会議所 5階 大ホール 〒516-0037 伊勢市岩淵1-7-17 0596-25-5151	2023年 11月13日 (月)	100名	長期投資で未来を創る～ こどもたちの将来を託せる 企業とは～	フーズ投資 代表取締役社長 兼 最高運用責任者 伊丹 哲朗氏
四日市地区	四日市商工会議所 1階 会議所ホール 〒510-8501 四日市市諏訪町2-5 059-352-8191	2023年 11月29日 (水)	150名	「新しいNISA」を 活用した 最適な資産運用方法	ウェルスアドバイザー株式会社 代表取締役社長 朝倉 智也氏

【投資環境テーマ】⇒事前のお申込みが必要です。お申込方法の詳細は裏面をご参照ください⇒

会場	日程	開催時間	定員	テーマ	講師
四日市地区	四日市商工会議所 1階 会議所ホール 〒510-8501 四日市市諏訪町2-5 059-352-8191	2023年 11月9日 (木)	150名	世界経済・金融市場の展望	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社 チーフエコノミスト 荒矢 秀至氏
伊勢地区	伊勢商工会議所 5階 大ホール 〒516-0037 伊勢市岩淵1-7-17 0596-25-5151	2023年 11月10日 (金)	100名	マーケット動向と リスクを抑える投資手法	あおぞら投資 取締役会長 柳谷 俊郎氏
桑名地区	くわなメディアライブ 多目的ホール 〒511-0068 桑名市中央町3-79 0594-24-1468	2023年 11月27日 (月)	100名	マーケット動向と リスクを抑える投資手法	あおぞら投資 取締役会長 柳谷 俊郎氏
松阪地区	フックスホテル 5階 大ホール 〒515-0019 松阪市中央町36-18 0598-52-0900	2023年 11月28日 (火)	100名	マーケット動向と リスクを抑える投資手法	あおぞら投資 取締役会長 柳谷 俊郎氏
名古屋地区	ミッドランドホール ミッドランドスクエアエクスプレス5階 〒450-6205 名古屋市中村区名駅4-7-1 052-527-8500	2023年 12月5日 (火)	50名	当面のグローバル市場見通し と投資戦略	野村アセットマネジメント CIO/グローバル シニアストラテジスト 兼 資産運用研究所 シニアフロッ 石黒 英之氏
津地区	メッセウイングみえ 大研修室 〒514-0056 津市河路町19-1 059-223-4655	2023年 12月6日 (水)	150名	当面のグローバル市場見通し と投資戦略	野村アセットマネジメント CIO/グローバル シニアストラテジスト 兼 資産運用研究所 シニアフロッ 石黒 英之氏

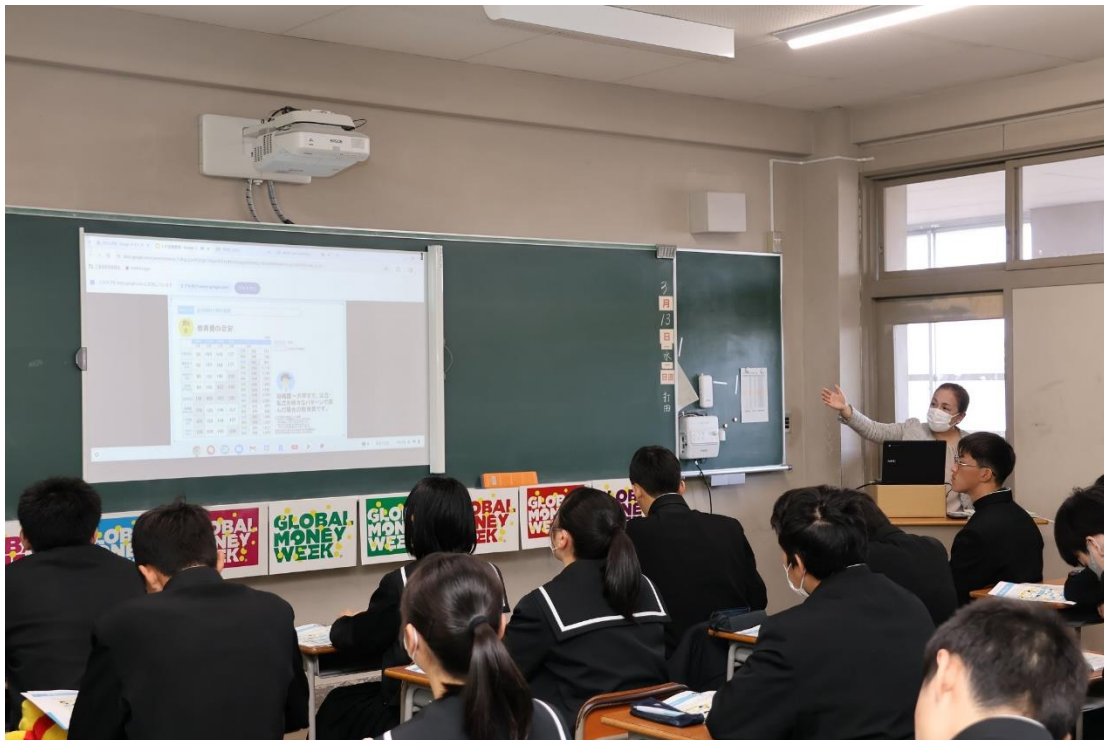


取組方針2 コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

地域金融リテラシー向上への参画



- 地域金融機関グループとして、金融商品のご提案・販売にとどまることなく、地域のお客さまの資産形成に貢献するためには「地域金融リテラシー向上への参画」も重要な取り組みと考えています。
- 銀行・証券ともに、県内大学・高等学校・中学校などの学生向けの投資教育関連セミナーや取引先の新入社員、従業員向けに職域での金融リテラシー講座を実施し、若年層向けの投資教育への取り組みを継続しています。



重要情報シートの活用と説明態勢の充実

[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]



- よりわかりやすく、比較しやすい説明を実現すべく、投資信託や保険の重要情報シートを導入しています。
- 金融庁が定める「顧客本位の業務運営に関する原則」原則5【重要な情報の分かりやすい提供】（注4）への対応として、投信運用会社（投信協会）、保険会社（生命保険協会）、証券会社（日本証券業協会）等と連携のうえ同シートの作成を行い、2022年6月から取扱開始しています。
- 銀行では比較説明を詳しく行う「商品比較説明シート」を新たに作成し活用しています。証券でも今後同様のシートの作成を検討しています。

重要情報シート（金融事業者編・個別商品編）

商品比較説明シート

百五銀行FRONTIER BANKING

一定の投資性金融商品の販売に係る重要情報シート（金融事業者編）～百五銀行のご紹介～

本書では、百五銀行の基本情報、取扱商品および取扱商品選定の考え方などを記載しています。

1. 当行の基本情報

当行は、お客さまに適切な商品の提供を行います。

2. 取扱商品

当行がお客さまに提供できる金融商品の概要は次のとおりです。

3. 商品ラインアップの考え方

4. 苦情・相談窓口

百五証券

一定の投資性金融商品の販売に係る重要情報シート（個別商品編）

2021年11月

1. 商品等の内容

2. リスクと運用実績

3. 費用

資産運用をお考えのお客さまへ

円建債券（公共債） 外貨預金 外貨建債券 投資信託 円建生命保険 外貨建生命保険

運用方針のイメージ

期間のめやす

購入方法

通貨

主なリスク

購入時契約時

保有期間中契約期間中

解約時

費用の高低

仕組み・特徴

19

重要情報シートの活用と説明態勢の充実

[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]

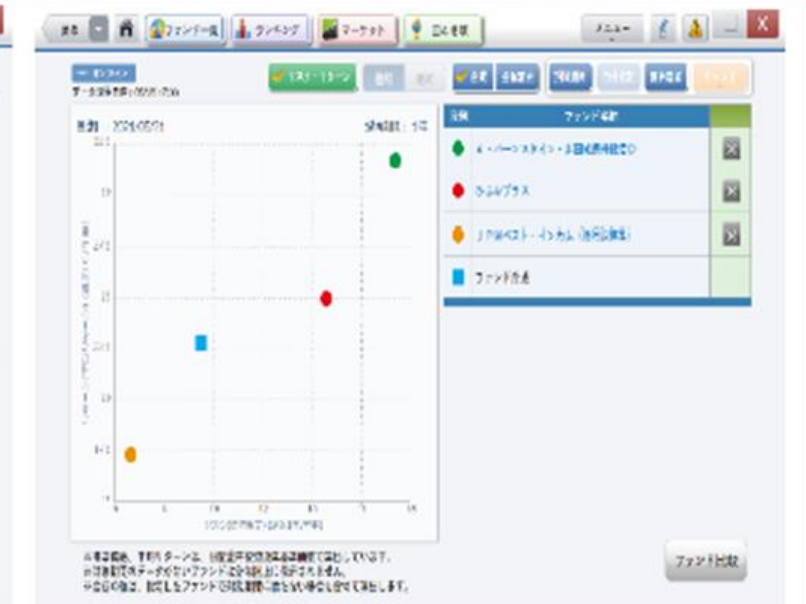
- 投資信託の手数料やリスク・商品特性について、分かりやすく説明できるようコンテンツを充実しています。
- 2018年2月に導入した投信情報提供アプリ「QUICK Asset Design Navi」の活用方法の浸透を図り、活用の高度化を引き続き進めています。
- お客さまには、同アプリを活用して、投資信託の手数料やリスク・商品特性について、視覚的に分かりやすい説明を行っています。
- 同アプリを搭載したタブレット端末については、コンサルプラザに所属する販売担当者全員に配布しております。またこれまで以上にお客さまへ最適な提案ができるよう、本部研修担当による同アプリの研修を継続しています。

【銀行】QUICK Asset Design Navi

■手数料シミュレーション

■積立シミュレーション

■リスク・リターンマップ



重要情報シートの活用と説明態勢の充実

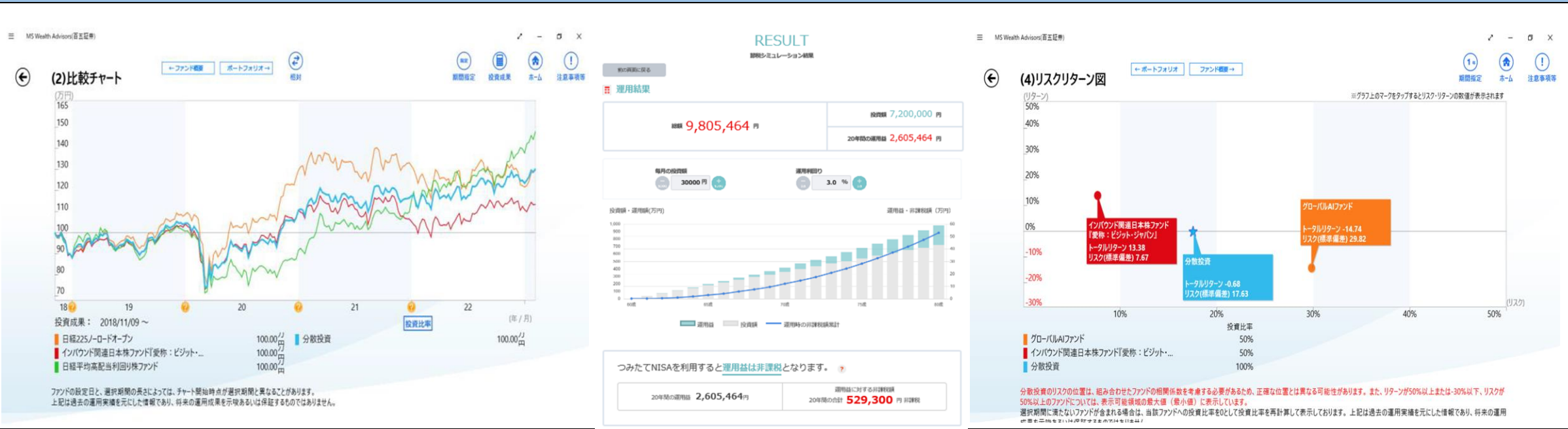
[原則4、原則5、原則5（注1・2・3・4・5）、原則6（注1・2・3）]

- 投資信託の提案・販売時に「手数料説明書」を用いて、申込金額に応じた具体的な手数料金額を明示した説明を行っています。
- 情報提供アプリ「ウェルスアドバイザーズ」を用いて、手数料シミュレーションや比較チャート、積立シミュレーションを活用するほか、リスク・リターンについてもチャートにより視覚的にわかりやすい説明を実施しています。
- 2022年の8月の導入以降、定期的に社員向けの提案活用研修を実施し、担当者がお客さまに対してわかりやすい説明を実践できるように努めています。

【証券】ウェルスアドバイザーズ
■比較チャート

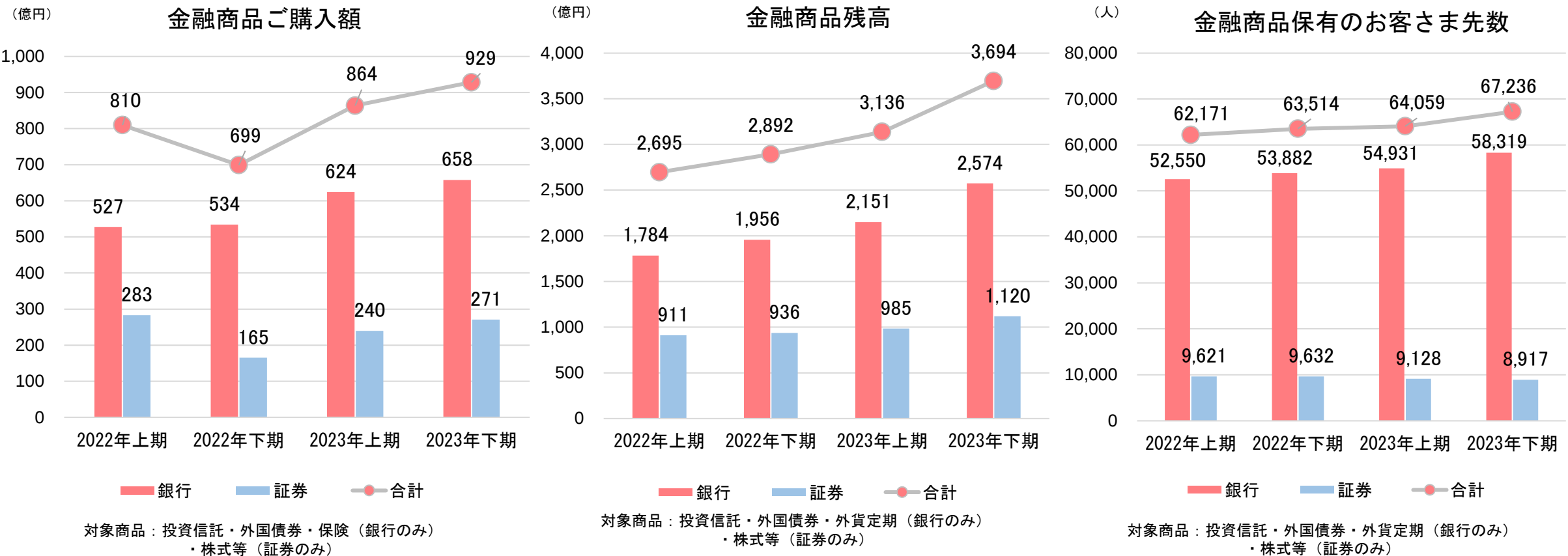
■積立シミュレーション

■リスクリターン図



銀証連携体制とグループ協働によるお客さまへの提供サービスの充実
[原則2（注）、原則6、原則6（注2・3）]

- 2019年4月より銀証連携体制を変更。仲介口座での取引拡大、百五証券担当者による仲介先への証券独自商品（株式・投資信託等）の販売を開始しており、連携の強化・定着を図ったことにより、お客さまに対するワンストップサービスの提供を実現しています。
- 2023年9月以降、EB債を含めた仕組債の新規取扱を停止しておりますが、グループの総合力を活用し、お客さまに最適な金融商品サービスの提供に努めております。
- 以下の百五銀行の購入額・残高・先数には、百五証券仲介口座におけるお取引を含んでおり、仲介口座での購入額は347億円（2023年度）、残高789億円（2024年3月末）、先数8,039先（2024年3月末）となりました。



取組方針5 お客さま本位の営業体制を整備します。

営業人材の育成・指導と適切な評価

[原則 2、原則 7、原則 7（注）]

- お客さまの資産形成に資する営業活動を評価する業績評価体系へ改善を図るとともに、研修等を通じ、グループ役職員に対して、お客さま本位の業務運営方針の浸透を図っています。



- 2023年度はお客さまのニーズ、マーケットに応じた提案・成果が正しく評価される体系への変更を行い、お客さま本位の業務運営が適正に評価されるよう工夫しています。
- お客さまの中長期の資産形成に資する営業活動を評価するため、NISA枠の活用や投信残高や積立投資信託の評価基準を高めています。



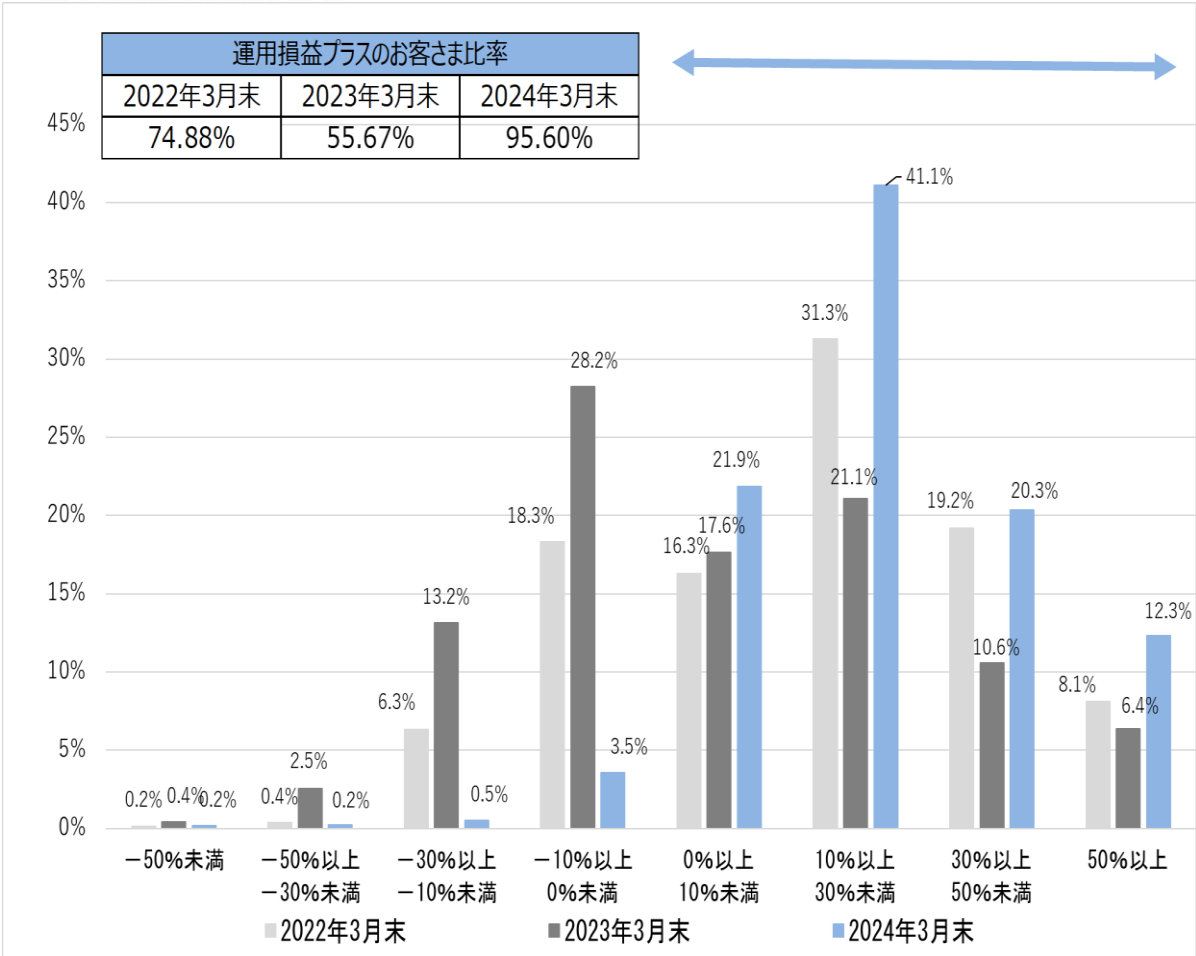
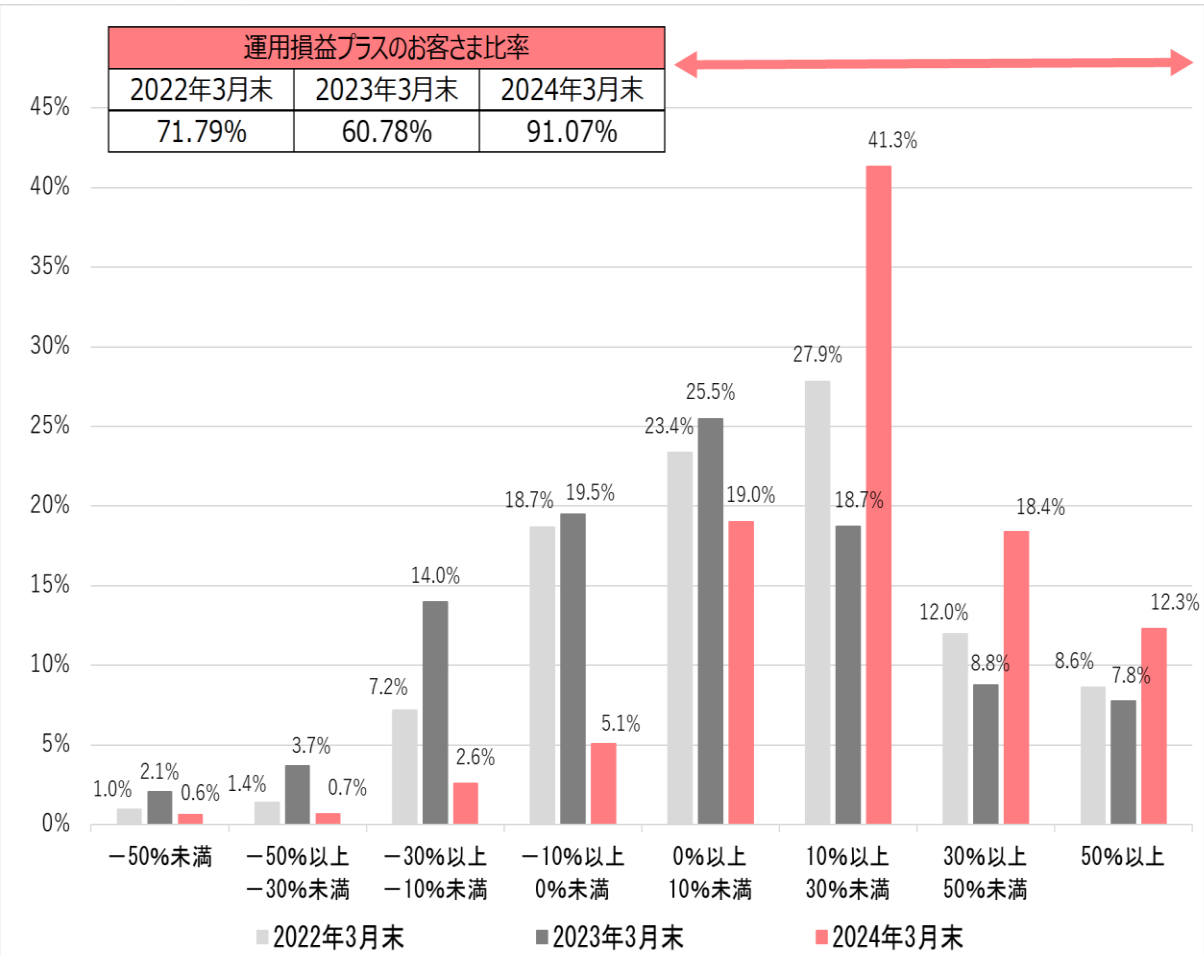
- 2023年度には、お客さま本位の業務運営が適正に評価されるよう、お預り残高拡大の評価をさらに高めるとともに、投資信託を活用した資産運用提案・積立投資信託に注力した営業活動を重視して評価する体系に変更しています。
- バランスファンドや株式・債券などへの分散投資推進により、多様な資産・商品の預り残高増加を意識したプロセス評価を重視し、中長期の資産形成につなげる提案意識の向上を図っています。
- 百五証券では対応できない、確定拠出年金、相続対策や資産承継のための保険商品や遺言信託などのサービスのニーズに対する百五銀行への紹介も、適切に評価する基準も設けています。

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『運用損益別顧客比率』

※対象のお客さま：基準日時点に投資信託を保有している個人のお客さま
※運用損益：基準日時点の「時価評価金額 + 累計受取分配金額（税引後） + 累計売却金額 - 累計購入金額（消費税込の販売手数料を含む）」÷「時価評価金額」

●2024年3月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は、百五銀行91.07%、百五証券95.60%と、2023年3月末（百五銀行60.78%、百五証券55.67%）と比較して、それぞれ大幅に改善しました。



【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』

- 2024年3月末時点での、投資信託預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リスク・平均リターンは、以下の通りとなっています。
- 百五銀行:平均コスト1.74％／平均リスク17.94％／平均リターン16.63％ ●百五証券:平均コスト2.14％／平均リスク19.27％／平均リターン18.61％



百五銀行

FRONTIER BANKING

(単位：%)

残高上位20銘柄		コスト	リスク	リターン
①	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.18	23.15
②	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.80	21.66
③	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.29	23.28
④	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.57	8.52
⑤	ひふみプラス	1.41	14.13	11.06
⑥	日経225ノーロードオープン	0.55	17.03	15.03
⑦	野村インデックスファンド日経225	0.44	17.01	15.44
⑧	好配当日本株式 オープン	1.65	14.69	15.89
⑨	野村インデックスファンド米国株式配当貴族	0.55	16.98	17.54
⑩	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	17.74	12.98
⑪	ピクテ・バイオ医薬品F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.75	16.48	10.21
⑫	グローバルAIファンド	2.59	27.67	22.74
⑬	野村インデックスファンド外国株式	0.61	17.17	19.35
⑭	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）	0.66	22.76	15.29
⑮	MSグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64	13.12	15.28
⑯	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	21.46	3.68
⑰	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド【愛称：THE 5G】	2.57	22.85	17.55
⑱	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53	24.27	20.42
⑲	投資のソムリエ	1.98	3.95	-0.58
⑳	東海3県ファンド	1.41	16.83	12.24
残高加重平均値		1.74	17.94	16.63



百五証券

HYAKUGO GROUP

あなたとともに、あらたな明日を

(単位：％)

残高上位20銘柄		コスト	リスク	リターン
①	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.18	23.15
②	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02	17.64	19.30
③	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.29	23.28
④	H S B C インド・インフラ株式オープン	2.75	26.98	23.02
⑤	ピクテ・バイオ医薬品 F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.75	16.48	10.21
⑥	企業価値成長小型株ファンド	2.26	23.15	16.38
⑦	高成長インド・中型株式ファンド	2.71	23.99	17.92
⑧	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	22.80	21.66
⑨	新光 U S － R E I T オープン	2.34	18.42	7.66
⑩	M H A M J － R E I T インデックスファンド（毎月決算型）	1.16	15.12	2.16
⑪	M S グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64	13.12	15.28
⑫	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51	22.85	17.55
⑬	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60	20.90	22.18
⑭	好配当日本株式 オープン	1.65	14.69	15.89
⑮	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.57	8.52
⑯	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	17.74	12.98
⑰	ひふみプラス	1.41	14.13	11.06
⑱	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53	24.26	20.42
⑲	日経225ノーロードオープン	0.55	17.03	15.03
⑳	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	2.31	29.46	42.55
残高加重平均値		2.14	19.27	18.61

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』



●直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト・平均リスク・平均リターン

【コスト・リターン／リスク・リターン】

※本共通 K P I は、金融庁が公表した基準にもとづき算出

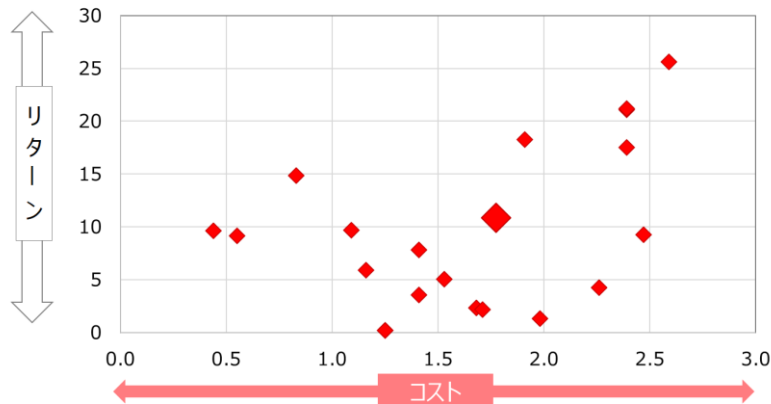
※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄に限定）

※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値

※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

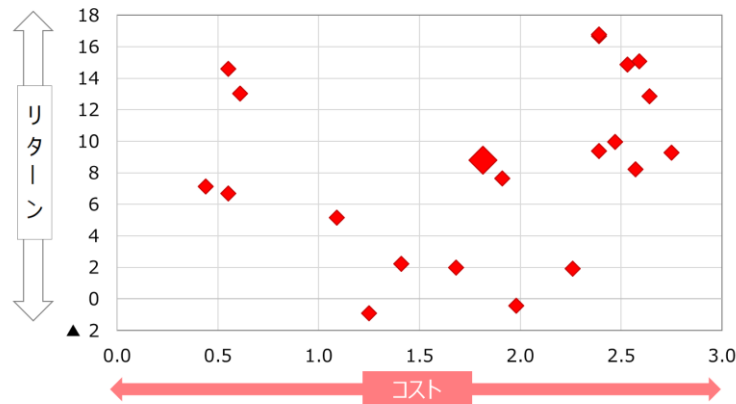
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

【2022年3月末】コスト・リターン (%)



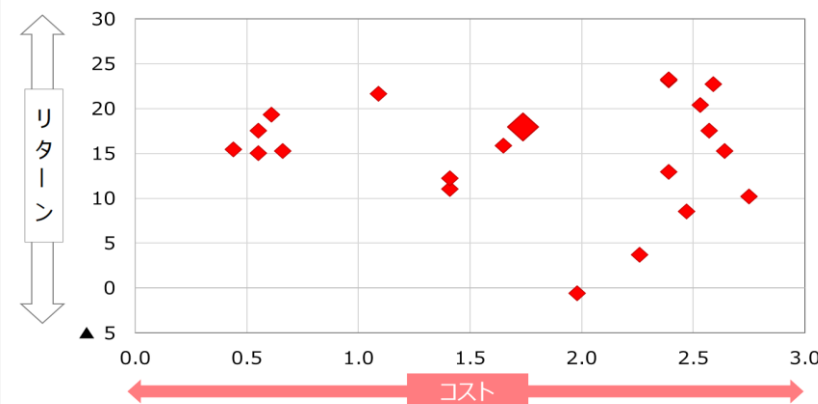
【2022年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.78%	10.84%

【2023年3月末】コスト・リターン (%)



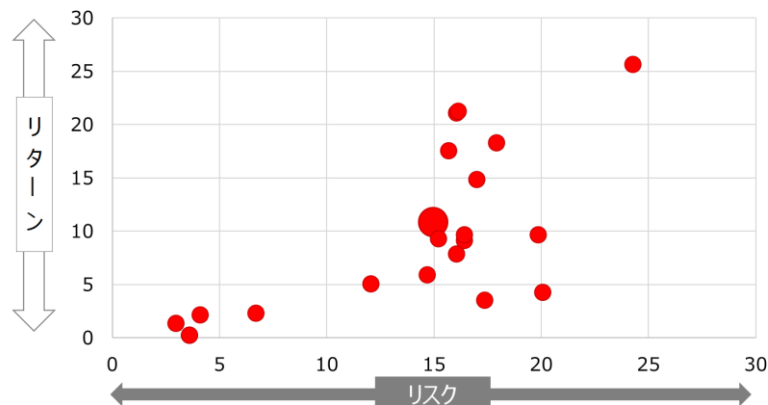
【2023年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.81%	8.78%

【2024年3月末】コスト・リターン (%)



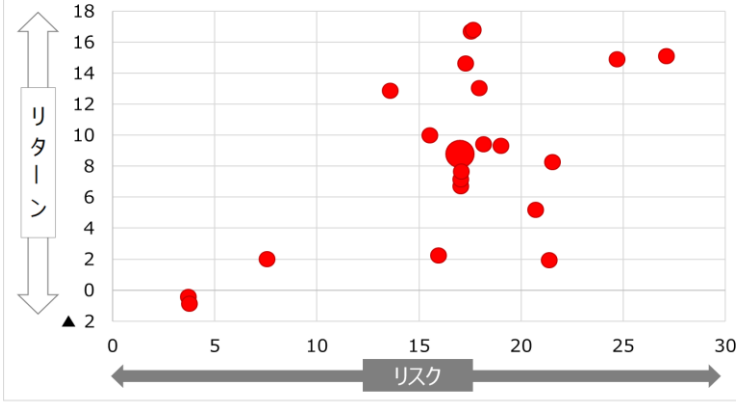
【2024年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.74%	16.63%

【2022年3月末】リスク・リターン (%)



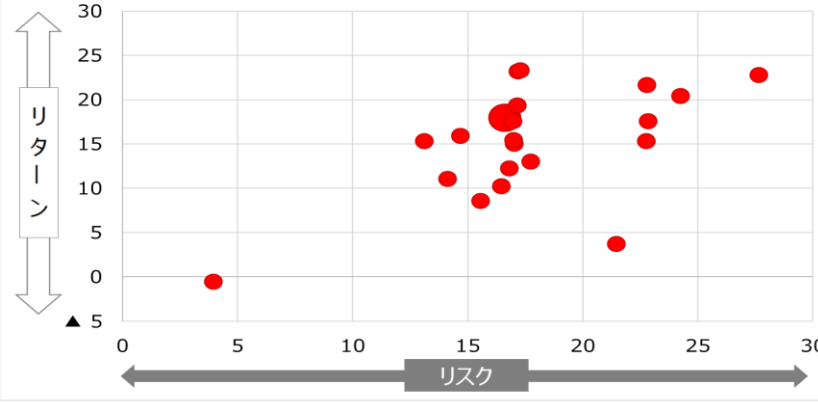
【2022年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	14.97%	10.84%

【2023年3月末】リスク・リターン (%)



【2023年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.01%	8.78%

【2024年3月末】リスク・リターン (%)



【2024年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.94%	16.63%

【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』



●直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト・平均リスク・平均リターン

【コスト・リターン／リスク・リターン】

※本共通 K P I は、金融庁が公表した基準にもとづき算出

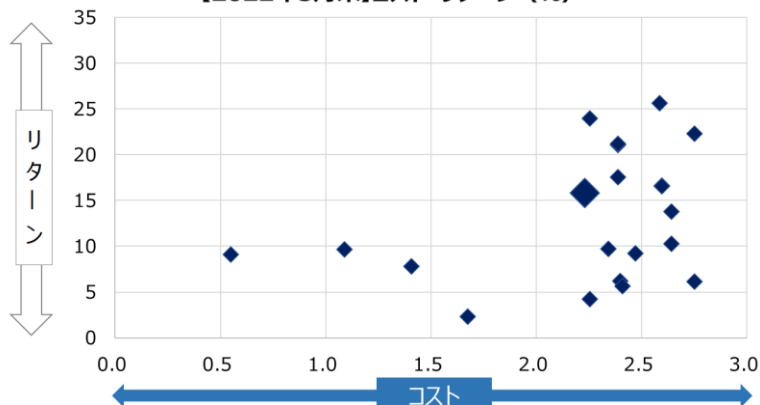
※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄に限定）

※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値

※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

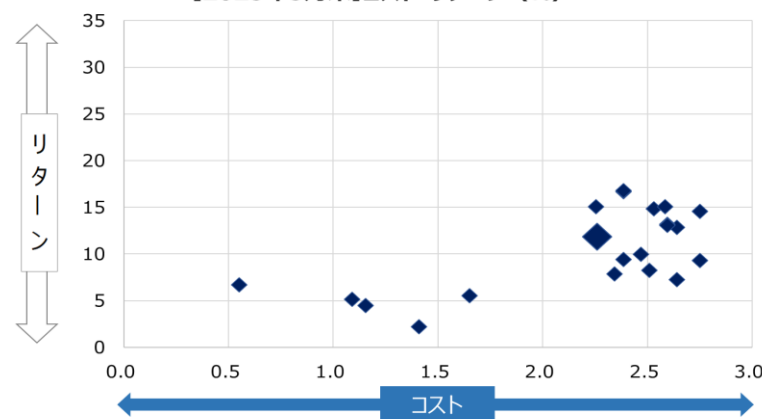
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

【2022年3月末】コスト・リターン（%）



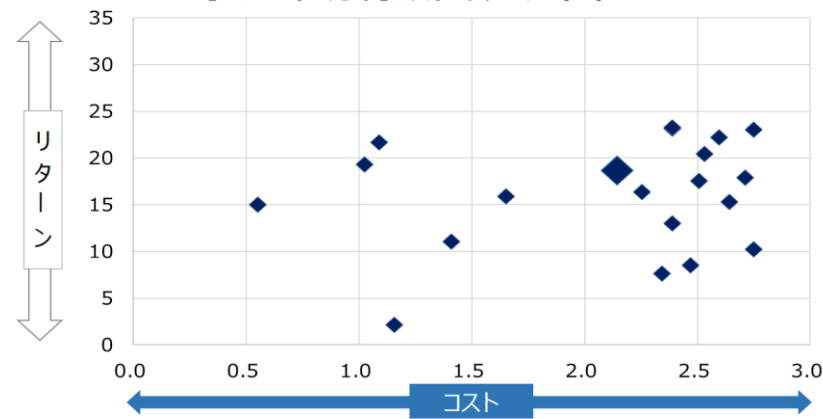
【2022年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.23%	15.81%

【2023年3月末】コスト・リターン（%）



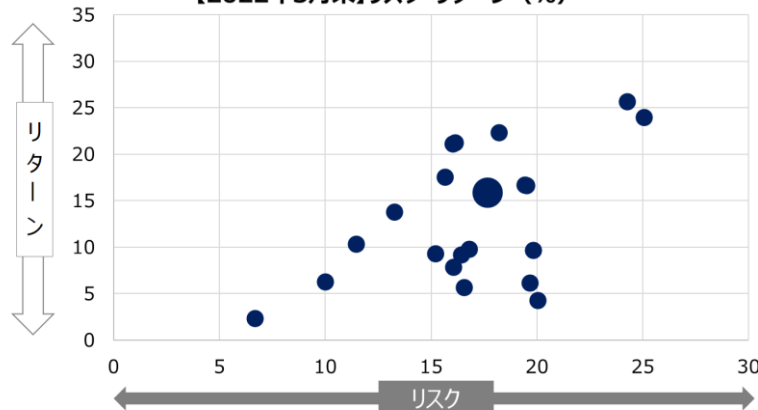
【2023年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.26%	11.85%

【2024年3月末】コスト・リターン（%）



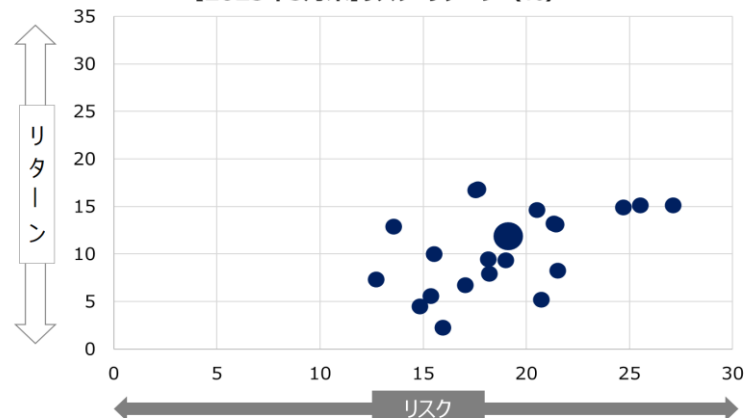
【2024年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.14%	18.61%

【2022年3月末】リスク・リターン（%）



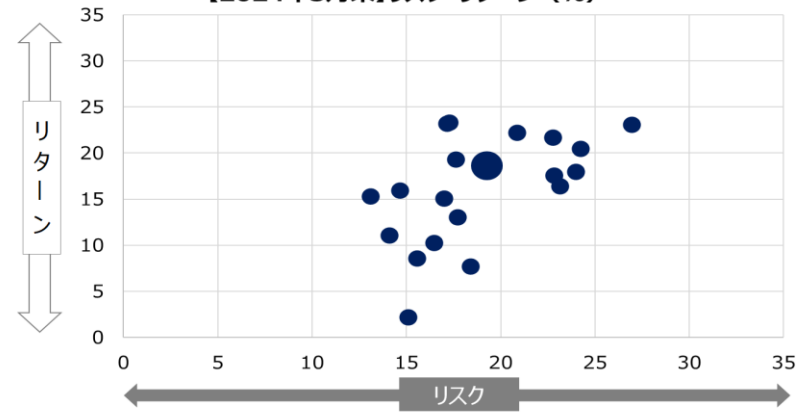
【2022年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.68%	15.81%

【2023年3月末】リスク・リターン（%）



【2023年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	19.14%	11.85%

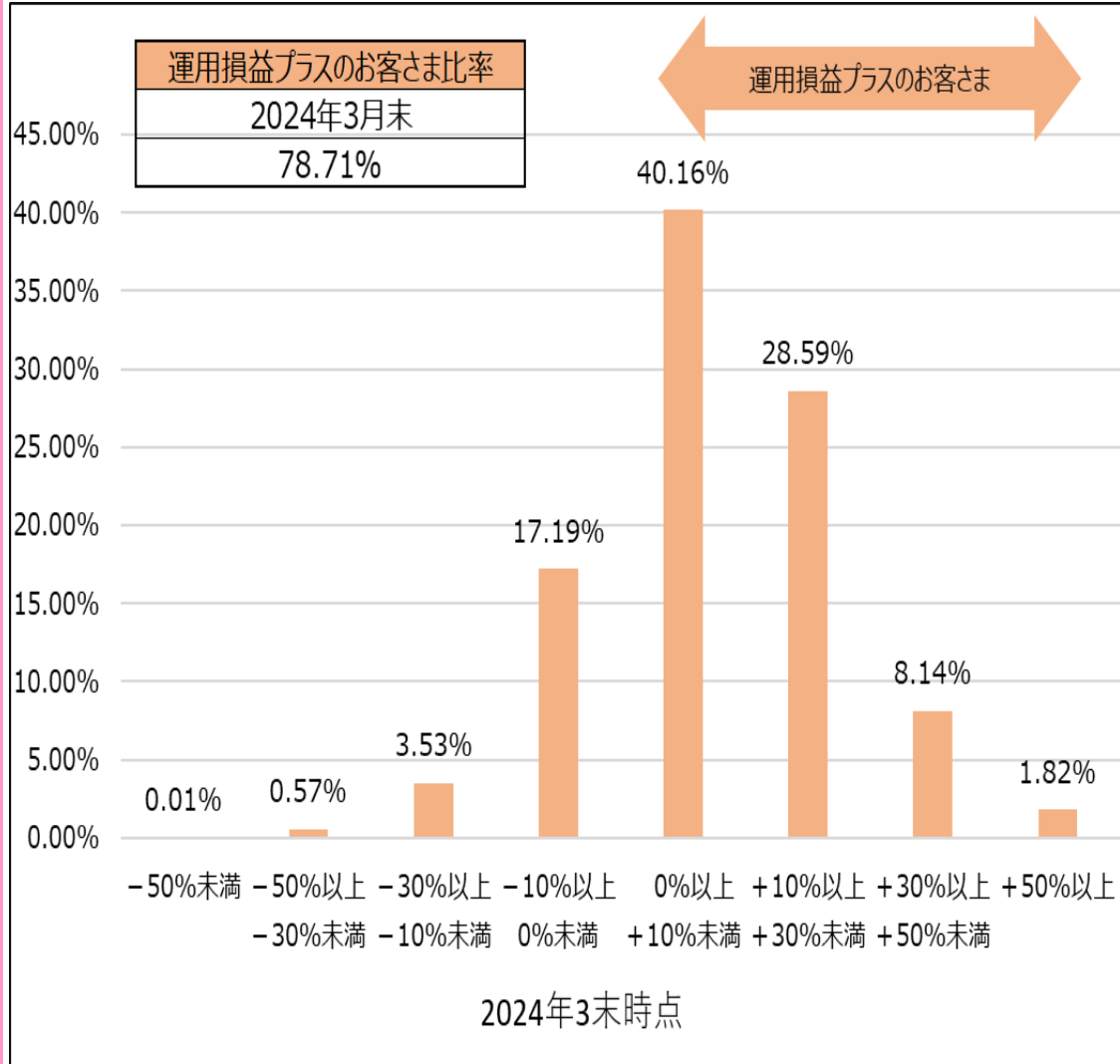
【2024年3月末】リスク・リターン（%）



【2024年3月末】 残高加重平均値	リスク	リターン
	19.27%	18.61%

『運用損益別顧客比率』

- 2024年3月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は78.7%と2023年3月末時点34.4%と比較して、増加しました。



<補足>

- ・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
- ・基準日・・・2024年3月31日時点
- ・対象・・・基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
除外しているもの・・・円建一時払保険。平準払保険。
介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。（※生前贈与商品は除外していない）
基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、当初外貨建一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。損益計算不能な契約。

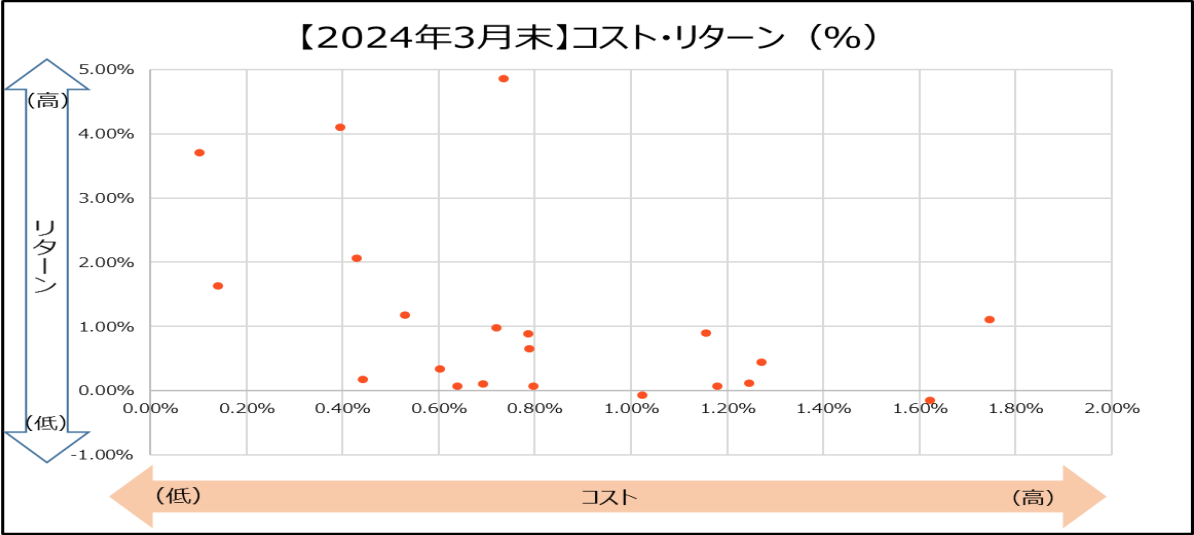
<保険商品の保障性について>

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- ・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン』

- 2024年3月末時点での、保険預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リターンは、以下の通りとなっています。
- 平均コスト0.72％／平均リターン0.98％。

販売上位20銘柄		コスト	リターン
①	やさしさ、つなが	0.44%	0.17%
②	サニーガーデン E X	0.64%	0.07%
③	到達力 V	0.73%	4.86%
④	到達力 V 2	1.02%	-0.07%
⑤	ロングドリーム G O L D 2	1.27%	0.45%
⑥	夢のプレゼント	0.60%	0.34%
⑦	サニーガーデン	0.43%	2.07%
⑧	ビーウィズユー（U Sドル建）	0.40%	4.10%
⑨	プレミアカレンシー・プラス 2	1.62%	-0.16%
⑩	プレミアプレゼント	0.80%	0.08%
⑪	三大陸	0.79%	0.89%
⑫	生涯プレミアムワールド 4	0.79%	0.66%
⑬	生涯プレミアムワールド 3	0.53%	1.18%
⑭	未来を楽しむ終身保険	0.69%	0.10%
⑮	到達力 V 3	1.24%	0.11%
⑯	ふるはーと J ロードグローバル	1.18%	0.07%
⑰	ロングドリーム G O L D	1.16%	0.90%
⑱	シリウスデュアル	0.10%	3.71%
⑲	シリウスハーモニー	0.14%	1.64%
⑳	デュアルドリーム	1.75%	1.11%
残高加重平均値		0.72%	0.98%



【2024年3月末】 残高加重平均値	コスト	リターン
	0.72%	0.98%

<補足>

- ・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
- ・基準日・・・2024年3月31日時点
- ・対象・・・基準日時点で契約開始から60ヶ月以上経過した外貨建一時払保険契約で、
残高（基準日時点の解約返戻金額＋既支払金額）の合計額の上位20銘柄を基準としています。
除外しているもの・・・円建一時払保険、平準払保険。
介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。
基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、当初外貨建一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。
損益計算不能な契約。
- ・手数料率は保険会社から提供された商品ごとの手数料率を基準としており、複数の手数料率が設定されている場合はその最大値を参照しています。

<保険商品の保障性について>

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- ・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。

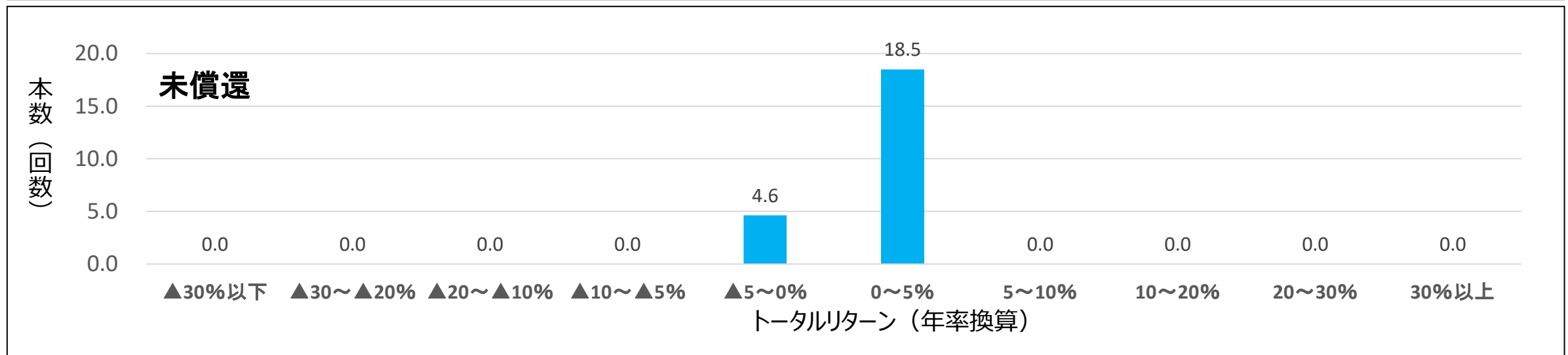
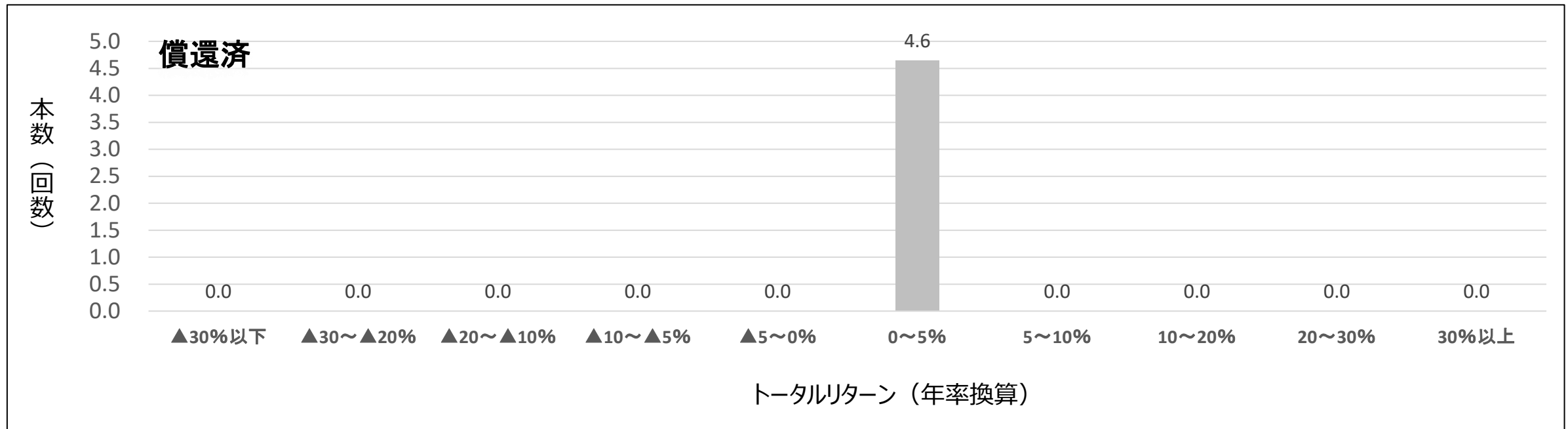
32ページ以降の資料の見方

- 2018年4月以降に発行し、2024年3月末時点で償還済および未償還の「複雑な仕組債」について、商品の種類別にリスク・リターン実績を集計しています。
- リターンは横軸の各分析対象の年率換算したトータルリターンにより、リスクは横軸のトータルリターンのばらつきにより表現しています。
- トータルリターン（年率換算・額面通貨ベース）：
$$\text{（クーポン総額} + \text{元本損益）} \div \text{投資金額} \div \text{投資期間（年）}$$

（元本損益については、未償還の場合は2024年3月末時点の時価評価を使用して算出。）
- 本数（回数）：年率換算したトータルリターンによる1年間の投資を何本（回）行うことができたかを示しています。
（例：3年満期の仕組債の年換算トータルリターンが5%の場合、5%に3本（回）分を計上。）
- このグラフは当社における過去の実績に基づくものであり、本仕組債の将来のリスクとリターンについて何ら示唆を与えるものではありません。また、このグラフは本仕組債への投資を推奨する目的で作成されたものではありません。

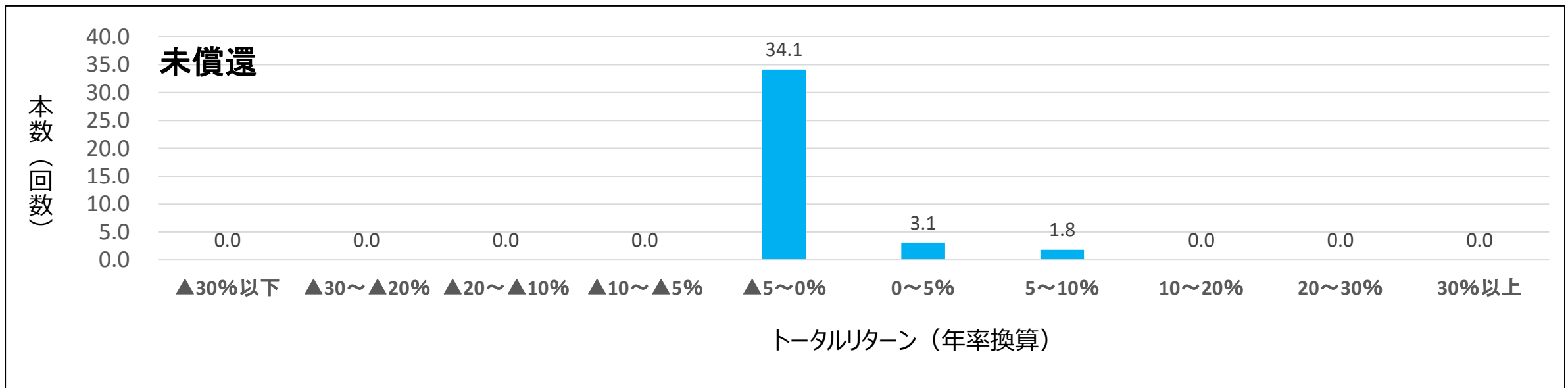
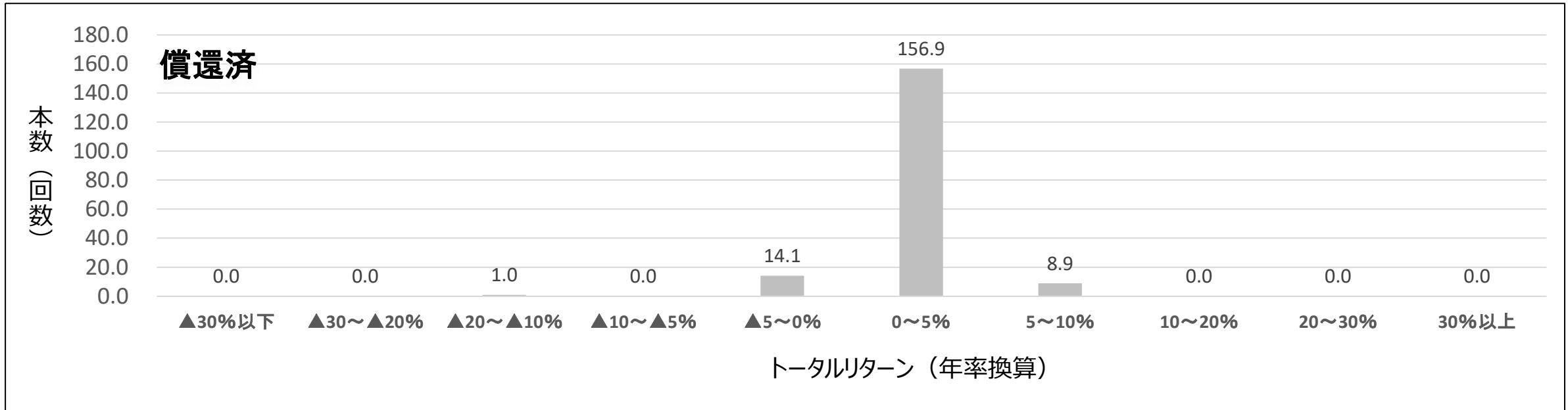
【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

①満期時100%償還型の「複雑な仕組債」：償還済1銘柄 未償還8銘柄 合計9銘柄



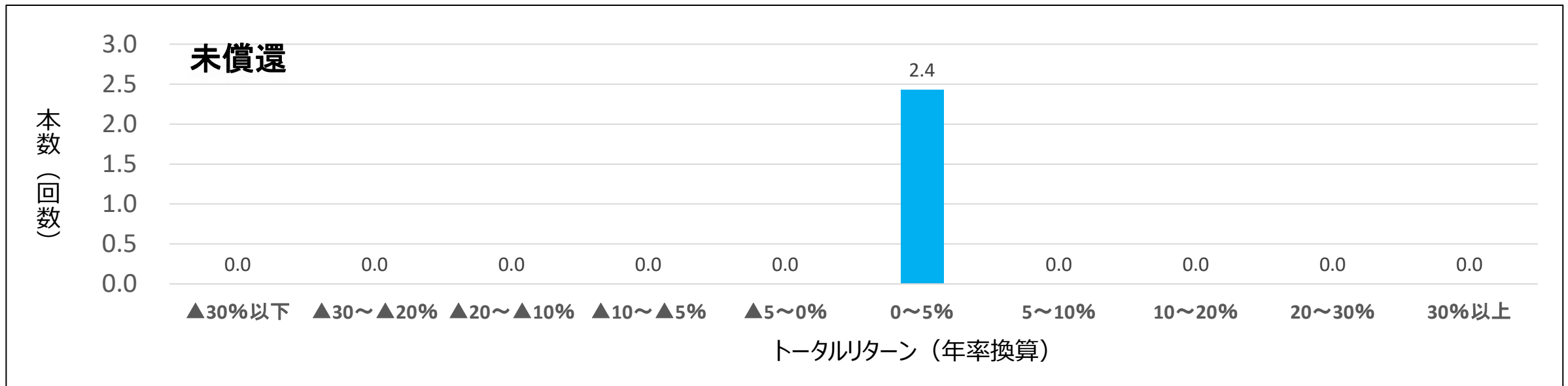
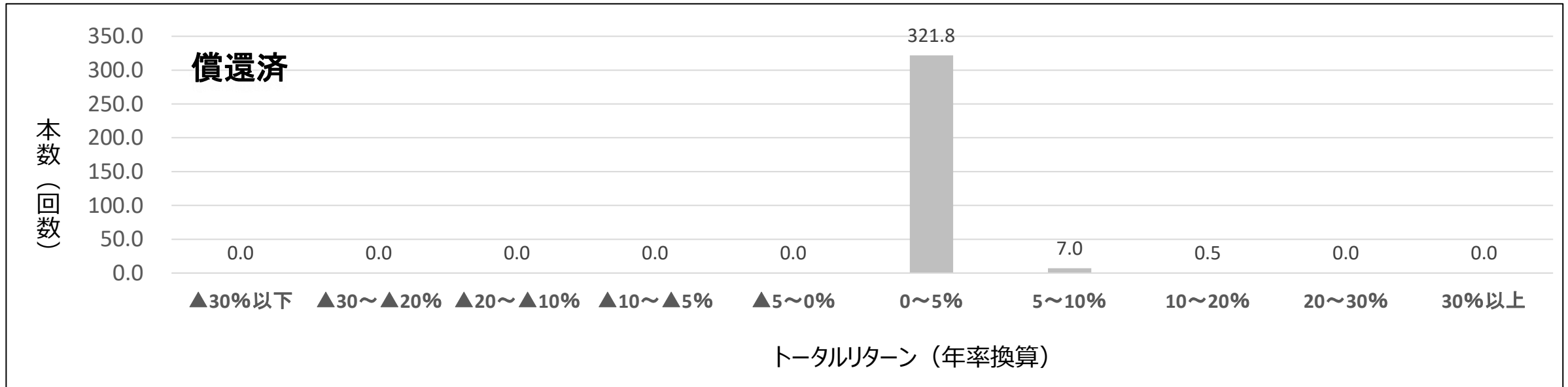
【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

②為替連動債（先進国通貨参照）：償還済：130銘柄 未償還11銘柄 合計141銘柄

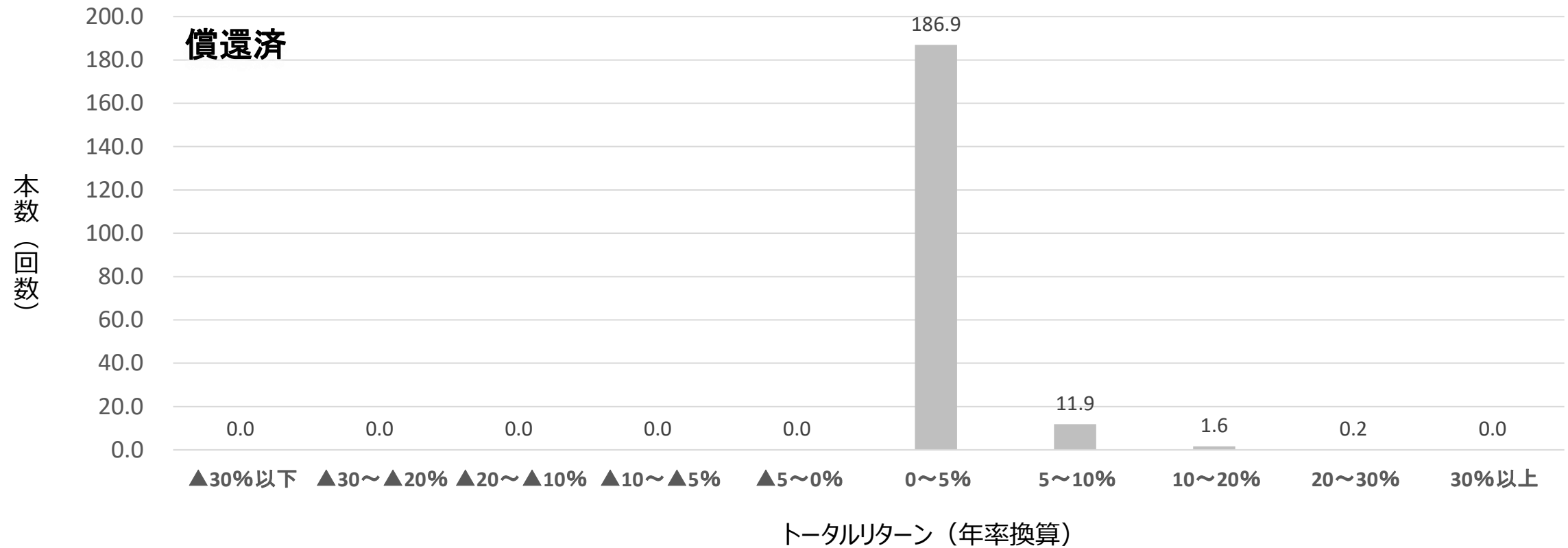


【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

③ 株価指数連動債（単一指数参照）：償還済308銘柄 未償還1銘柄 合計309銘柄

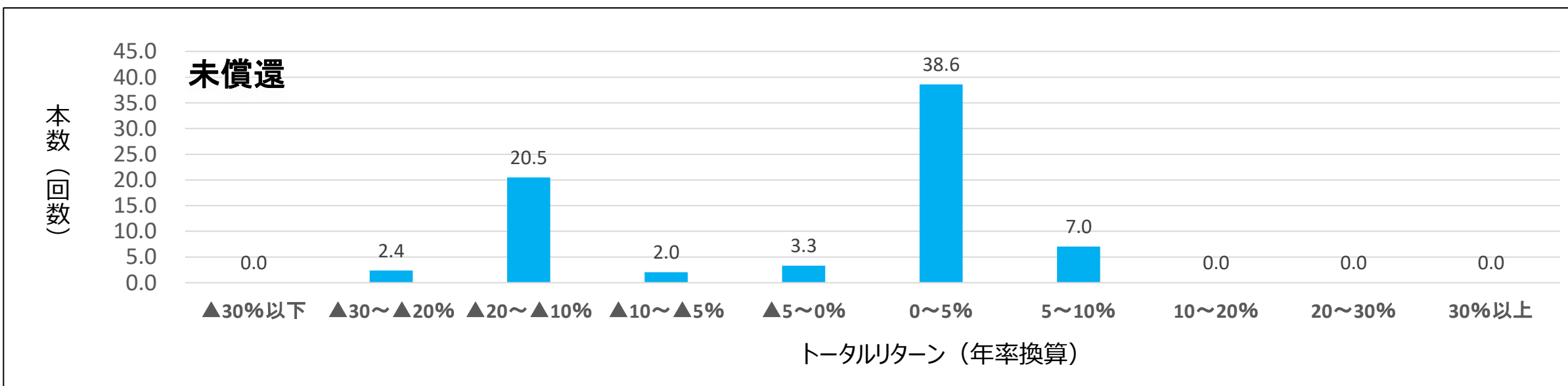
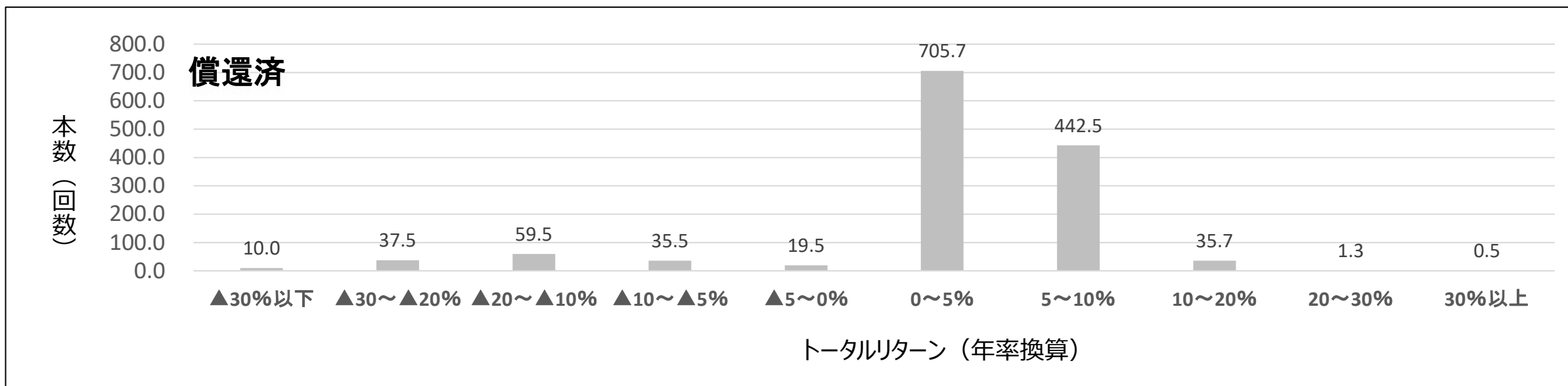


④ 株価指数連動債（複数指数参照）：償還済148件 未償還0銘柄 合計148銘柄



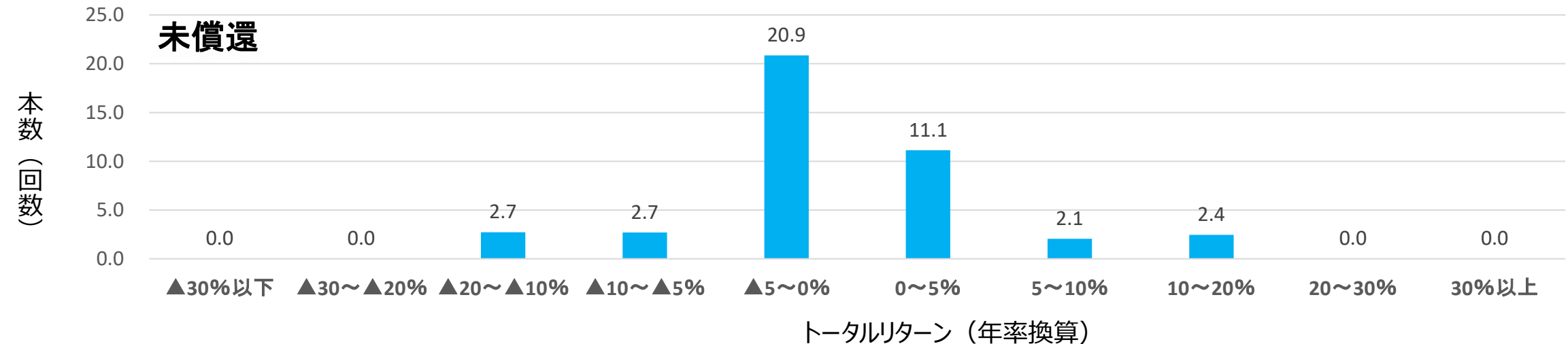
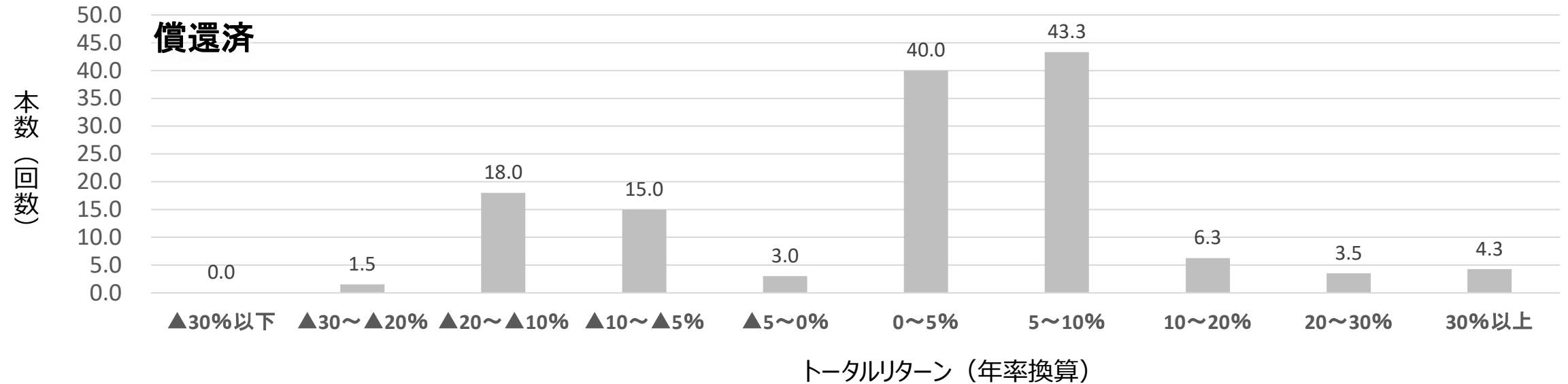
【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

⑤他社株式等転換特約付債 株価連動債（日本株単一銘柄参照）：償還済1,370銘柄 未償還32銘柄 合計1,402銘柄



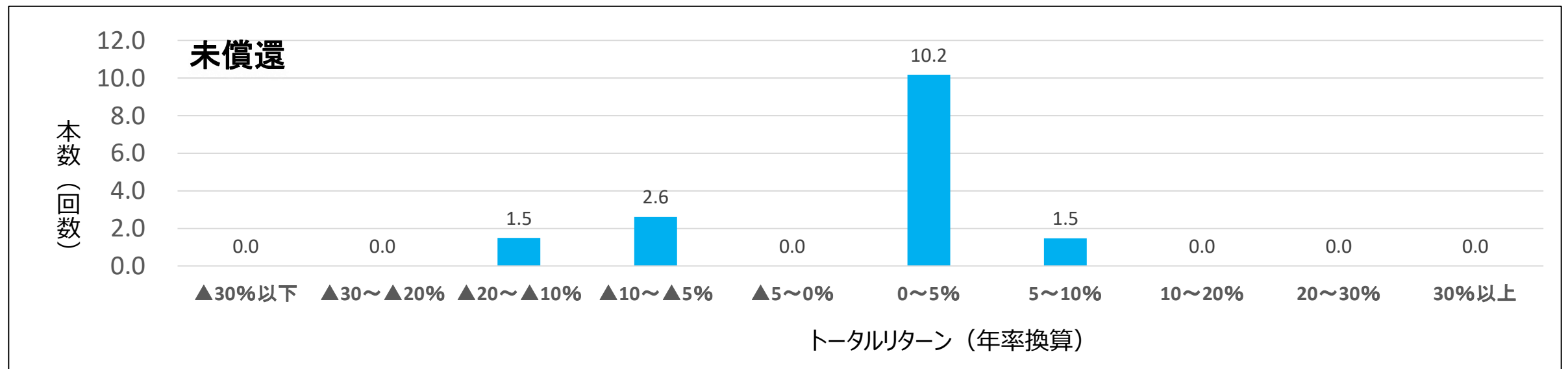
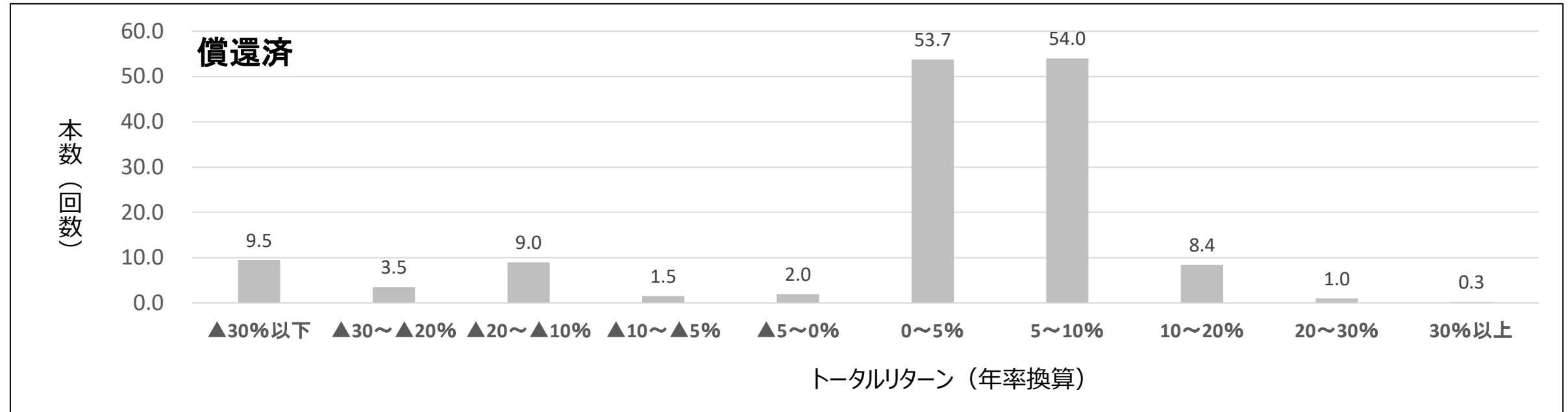
【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

⑥ 他社株式等転換特約付債 株価連動債（日本株複数銘柄参照）：償還済101銘柄 未償還16銘柄 合計117銘柄



【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

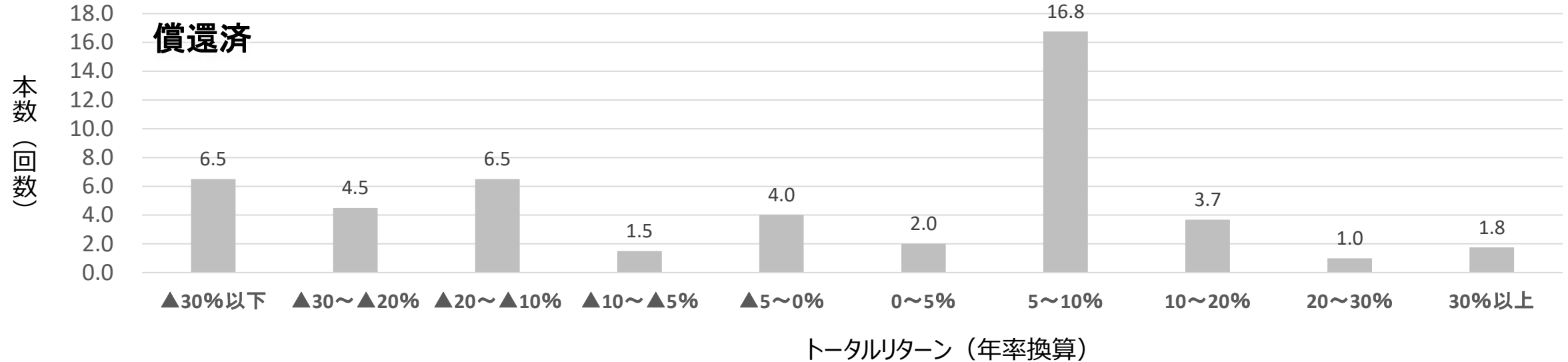
⑦他社株式等転換特約付債 株価連動債（外国株単一銘柄参照）：償還済196銘柄 未償還7銘柄 合計203銘柄



【ご参考】「複雑な仕組債」のリスク・リターン実績について

⑧他社株式等転換特約付債 株価連動債（外国株複数銘柄参照）：償還済54銘柄 未償還8銘柄 合計62銘柄

償還済



未償還

